取扱説明書

DVDプレーヤー

型名 XV-P35

リージョン番号(ローカル番号)について

本機のリージョン番号は「2」です。DVDビデオの場合、リージョン番号表示に「ALL」または番号「2」が含まれているディスクに限り再生することができます。

再生可能なリージョン番号表示の例:

ディスクのジャケットもご参照ください。

リージョン番号は、国や地域ごとに割り当てられた番号です。

お買い上げありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に3～5ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

GNT0038-001A

目次

お使いになる前に

接続と準備

基本操作

応用操作

MP3ディスクの再生

JPEGディスクの再生

初期設定を変更する

ご参考に

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

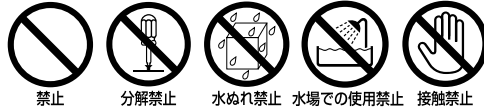
- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- **絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　水場での使用禁止　接触禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグを抜く

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

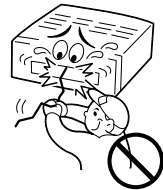
分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

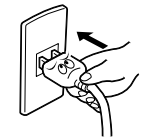
本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

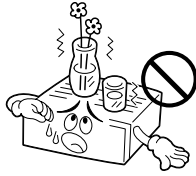
電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

⚠警告

本機の上に水などの入った容器を置かない。

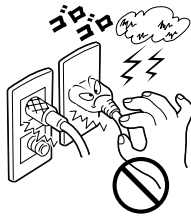
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

交流100V(ボルト)以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

接触禁止

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

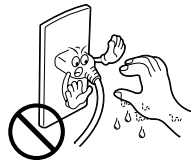
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

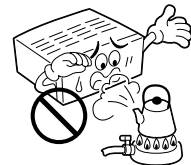
ぬれ手禁止

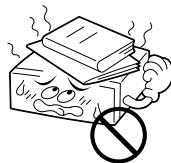
通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

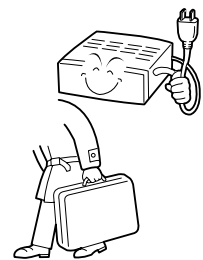
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などか10㎝以上離す

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

手を挟まれないよう注意

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に接続したテレビやアンプなどの音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（−）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（−）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- 風通しの悪い狭い場所
- バランスの悪い不安定な所
- 直射日光の当たる所
- 熱器具の近く
- 極端に寒い所
- 寒い所から急に暖かい場所へ移動した後しばらくの間
- 磁気を発生する所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 振動の激しい所

ご注意

本機の使用環境温度は5℃〜35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となります。

露がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露(水滴)が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1〜2時間待ってから、ご使用ください。

本体の掃除

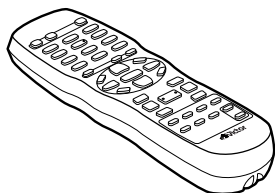
- パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは、水で布をしめらせるか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとから**からぶき**してください。

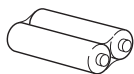
ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

付属品を確認する

本機には、次の付属品が同梱されています。お使いになる前にお確かめください。

- リモコン(RM-SXV056D)(1個)

- オーディオ/ビデオコード(1本)

- 単3形乾電池(2本) (動作確認用)

この取扱説明書について

- この取扱説明書では、本機に表示されるディスプレイ表示や、テレビ画面に表示されるOSD(オンスクリーンディスプレイ)を、[ ]を使って表示しています。
- この取扱説明書では、再生できるディスクを以下のシンボルを使って区別しています。

ディスクの予備知識

再生できるディスク

本機で再生できるディスクは以下のとおりです。

DVDビデオ	スーパービデオCD(SVCD)	ビデオCD	オーディオCD

以下のディスクも再生できます。

- DVDビデオフォーマットで記録され、**ファイナライズ処理された**DVD-R/RWディスク
- 以下のフォーマットで記録されたCD-R/RWディスク
  - オーディオCDフォーマット(ファイナライズ処理されたディスクに限ります)
  - ビデオCDフォーマット、スーパービデオCDフォーマット
  - ISO9660で記録されたMP3ディスク (詳しくは26ページをご覧ください)
  - ISO9660で記録されたJPEGディスク(詳しくは28ページをご覧ください)

ご注意

ディスクの傷や汚れ、反り及び記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。

また、次のディスクは音声のみ再生できます。
MIX-MODE CD、CD-G、CD-EXTRA、CD TEXT

お知らせ

DVDビデオの2層ディスクの場合、1層目から2層目に切り換わるとき、映像や音声が乱れることがありますが、これは故障ではありません。

テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。NTSC以外のTV方式(PAL等)用のDVDビデオ/ビデオCDは、NTSC方式に変換して再生されます。

再生できないディスク

次のディスクは再生できません。
誤って再生しようとすると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。

- VRフォーマットで記録されたDVD-RW
- DVD-ROM、DVD-RAM、DVDオーディオ、CD-ROM、PHOTO CD、SACD

ご注意

いずれのディスクでも、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような割れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク(シェイプCDなど)は再生できません。

音声記録方式

本機で再生できるディスクに記録されているデジタル音声には、次の3種類があります。
各記録方式についての解説は、「付録D:用語集」(44ページ)をご覧ください。

- ドルビーデジタル
- DTS (Digital Theater System)
- リニアPCM

お知らせ

- 音声記録方式、および本機と接続するデジタル音声機器に合わせて、初期設定の[音声設定画面]で、[デジタルOUT]の設定を変更する必要があります(33ページ)。
- 本機のデジタル音声出力端子を、DTSデコーダーを搭載していない機器に接続しているときは、DTSのディスクを再生しないでください。大音量により、耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損する恐れがあります。

ディスクについてのご注意

- DVDビデオのソフトによっては、ディスクを入れると自動的に再生がはじまるものがあります。
- ディスクによっては、この取扱説明書の説明どおりに動作しないことがあります。

- DVDビデオ、およびビデオCDは、ソフト製作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作したとおりに機能が働かないことがあります。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

ディスクの使用上のご注意•お手入れ

取り扱い時の注意

ディスクを取り扱う際は、以下の点に注意してください。正しく取り扱わないと、信号を読み取れなくなったり、雑音(ノイズ)が生じたりする原因となります。

- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押したままディスクを持ち上げてください。
- ディスクに傷を付けないでください。
- ディスクの信号面(文字の書かれていない面)を汚したり、ラベル面(文字の書かれている面)に紙やセロハンテープなどを張らないでください。
- ディスクを反らせないでください。

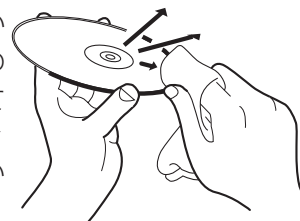
ディスクの保管

使用するディスクは、ほこり、傷、変形などを防ぐため、必ず専用のケースに入れて保管し、次のようなところに絶対に置かないでください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器のそばや車の中など

ディスクのクリーニング

- ディスクの信号面についたほこりや指紋は、柔らかい乾いた布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。

- レコードクリーナーやレコードスプレー、シンナーおよびベンジンなどの洗剤を、ディスクのクリーニングには使用しないでください。

- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVDビデオのロゴは商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要になります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭を始めとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。

接続

テレビやアンプなどを接続します。

接続にあたってのご注意

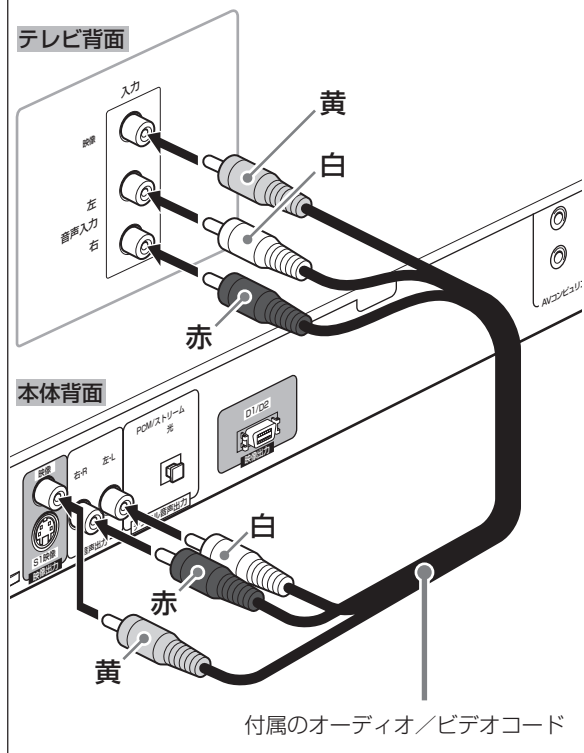
- **すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントに差し込んでください。**
- **各プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音（ノイズ）や音が出ないなどの原因となります。**
- **本機の映像出力は、テレビ（またはモニター）と直接つないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、本機のコピープロテクションシステムにより、再生中に画像が乱れることがあります。**
  また、ビデオデッキ内蔵のテレビ（テレビデオ）につないだ場合も、再生中に画像が乱れる場合があります。

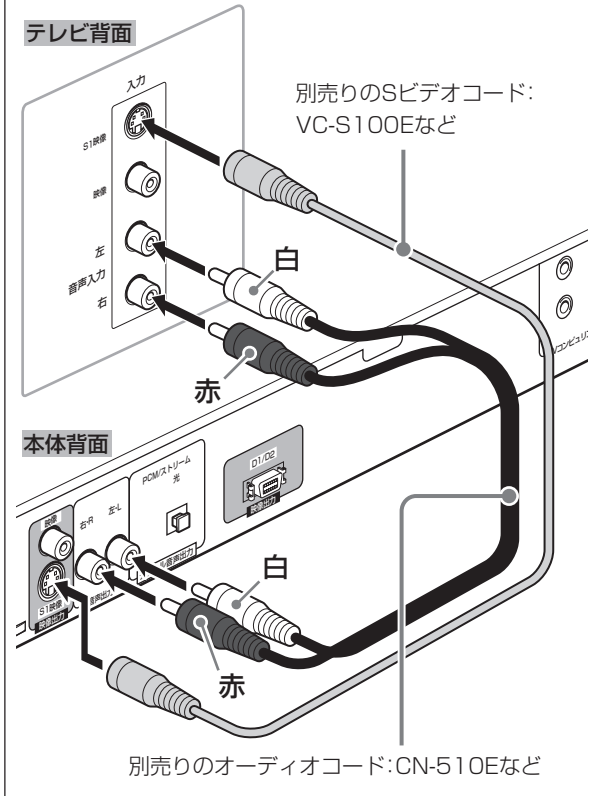
お知らせ

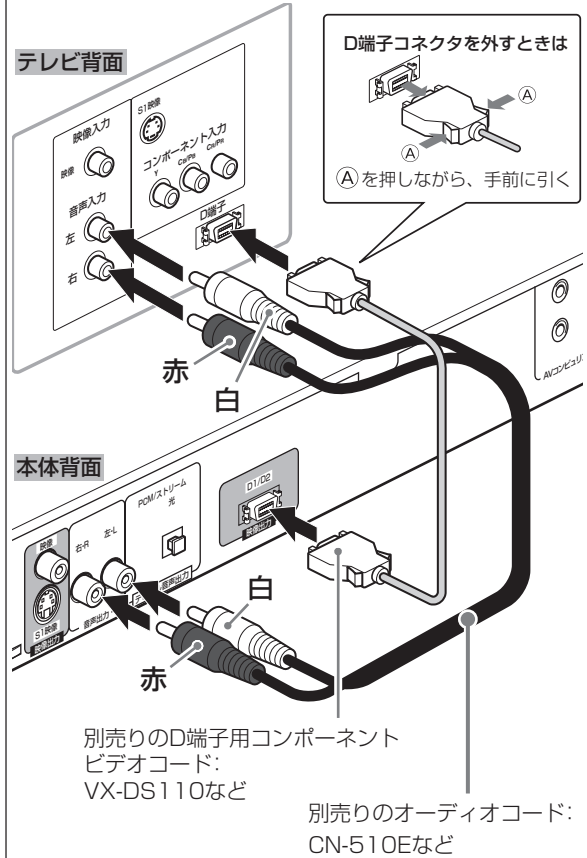
- 接続するテレビまたは機器がビクター製で、ＡＶコンピュリンクⅡまたはⅢ端子があるときは、「AVコンピュリンクの活用」(37ページ)をご覧ください。
- テレビやモニターの映像入力端子がBNCタイプのときは、別売りのアダプター(VZ-90)を使用してください。

> ***プログレッシブスキャン対応***
> 本機は、よりチラツキの少ない高密度の映像が得られるプログレッシブスキャンの映像出力ができます。
> プログレッシブスキャン対応テレビで、より高密度の映像をお楽しみになるには、本機のD1/D2端子とテレビのD1～D4端子を接続し（9ページ「D端子付きのテレビと接続する」）、本機のスキャンモードを「**プログレッシブ**」に設定してください（13ページ「スキャンモードを切り換える」）。

テレビと接続する

A 映像入力および音声入力端子が付いているテレビと接続する

B S映像入力端子付きのテレビと接続する

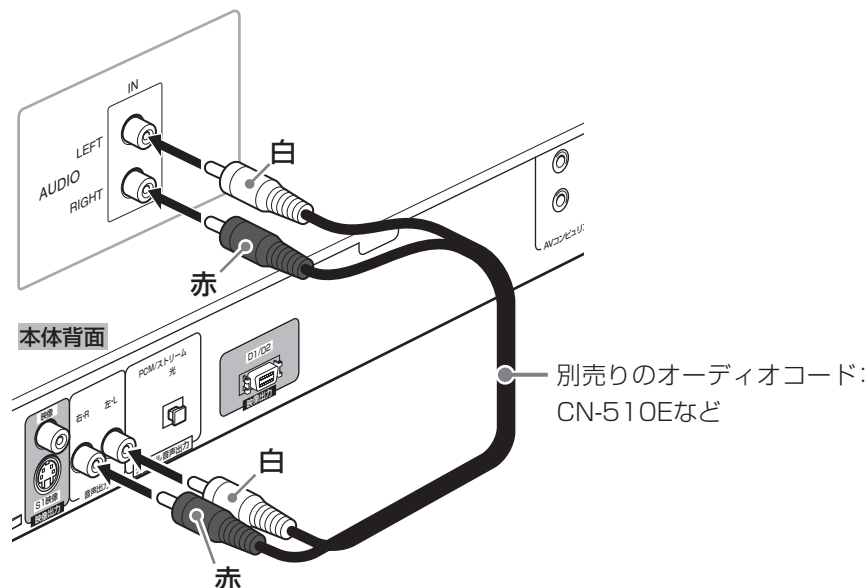
S映像入力端子(用語集44ページ)が付いているテレビの場合、黄色の映像コードで接続する代わりに、Sビデオコード(別売り)で接続します。さらに鮮明な映像がお楽しみいただけます。

C D端子付きのテレビと接続する（プログレッシブスキャン対応テレビなど）

D1/D2端子(用語集44ページ)を使って本機とテレビのD端子(D1〜D4まで)を接続します。
より高画質の映像がお楽しみいただけます。

- **D1/D2端子を使ってテレビと接続するときは、本機の他の映像出力端子は同時にテレビと接続しないでください。**
  両方とも接続すると、映像の色や明るさが正しく再生されません。
- **スキャンモードを「プログレッシブ」に設定する場合は、13ページをご覧ください。**

その他の機器と接続する

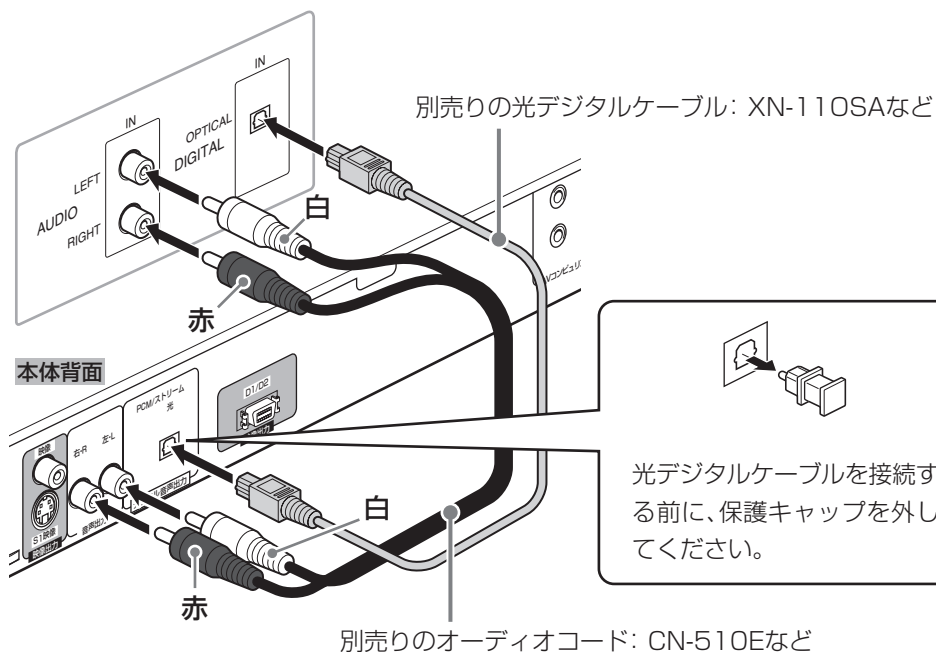
アンプやデコーダーなどとつなぐと、より本格的な音声を楽しむことができます。

ステレオアンプやレシーバーと接続する

ステレオアンプ、レシーバーなどのオーディオ専用機器と接続して、より迫力ある音声が楽しめます。

デジタルオーディオ機器と接続する

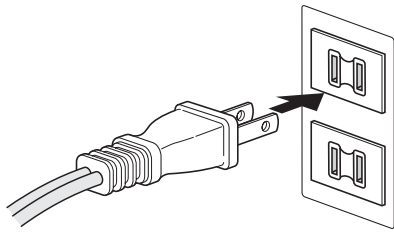
本機のデジタル音声出力端子を、ドルビーデジタルデコーダーやDTSデコーダー内蔵のAVアンプやAVレシーバーなどのデジタル入力端子と接続します。本機で再生したディスクのオーディオ信号をデジタルのまま外部機器へ送ることができ、高音質のサラウンドがお楽しみいただけます。

デジタル音声出力の光端子を使って接続します。

- デジタル音声端子どうしを接続する場合、アナログ入力端子を使った接続も行なってください。DVDビデオの収録方式によっては、デジタル音声信号が出力されないことがあります。

ご注意

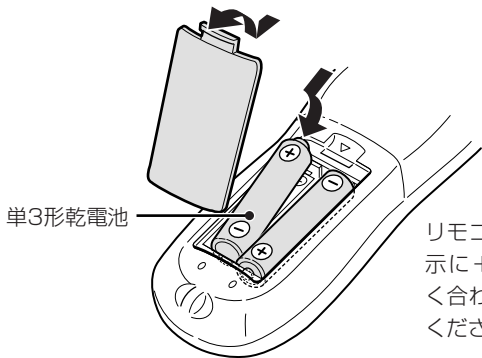
- ドルビーデジタルデコーダーの機能を持った機器と接続した場合、本機のデジタル音声出力からの音声に対して本機の[音声設定画面]の[アナログダウンミックス]および[Dレンジコントロール]設定は無効となります(33ページ)。
- 本機では、DTSで記録されたDVDビデオやオーディオCDの音声がアナログ出力端子から出力されません。これらのディスクを正しく再生するには、DTSデコーダーを搭載した機器を本機のデジタル音声出力端子に接続する必要があります。

電源コードの接続

すべての接続が終わったら、本機の電源コードを家庭用コンセント(交流100V)にしっかりと差し込みます。
電源コードを接続すると、本体のSTANDBYランプが赤く点灯します。

家庭用コンセント
AC100V、
50Hz/60Hz

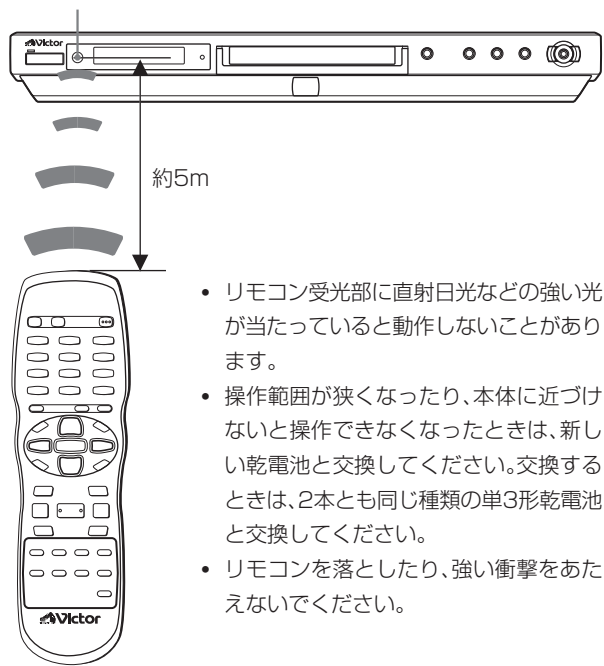
リモコンについて

リモコンに電池を入れる

下図のように電池をリモコンに入れます。このとき、+と−の極性を間違えないように入れてください。

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 一度使用した電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池と混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液もれなどの原因となります。

リモコンの操作範囲

リモコンの先端を本体前面のリモコン受光部に向けて操作します。操作可能な距離は、リモコン受光部より約5mですが、斜めから操作すると短くなります。

- リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっていると動作しないことがあります。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。交換するときは、2本とも同じ種類の単3形乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

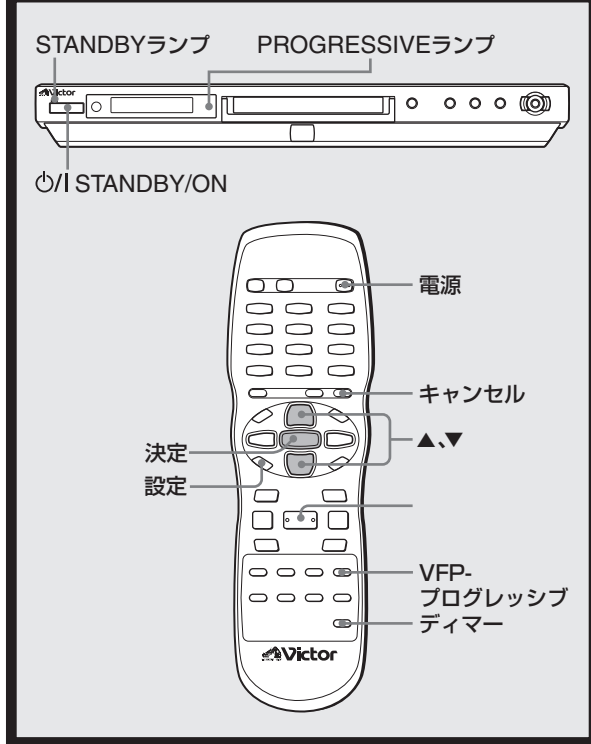
電源について

電源を「入/切」するには、リモコンの**電源ボタン**または本体の ⏻/I**STANDBY/ONボタン**を押します。
電源を入れると、本体前面にあるSTANDBYランプが消えて、テレビ画面に次のような画面(オープニング画面)が表示されます。

メッセージ

オープニング画面の下部には、本機の状態を示すメッセージが表示されます。

NOW READING	:ディスク情報を読み取り中です。しばらくお待ちください。
リージョンコードエラー	:リージョンコードが違うため、このDVDビデオは再生できません。
OPEN	:ディスクトレイを開いています。
CLOSE	:ディスクトレイを閉じています。
NO DISC	:ディスクが入っていません。

基本操作

マークについて

本機、またはディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。

が表示されていなくても、状況によっては操作ができないことがあります。

本機の再生条件を設定する【簡単セットアップ】

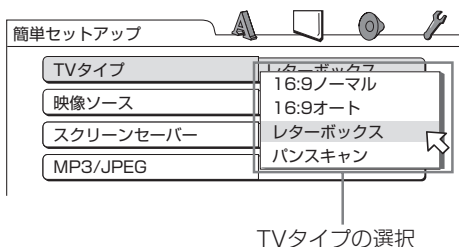
お買い上げのあと最初に電源を入れたとき、次のようなメッセージがオープニング画面の上部に表示されます。

画面と音声の基本設定を簡単セットアップで行いますか？
行う－**決定ボタン**　　行わない－**キャンセルボタン**

本機の操作を始める前に、「簡単セットアップ」画面で本機の再生条件を設定します。
【簡単セットアップ】画面で設定できる内容は、初期設定画面でも設定することができます。詳しくは31ページをご覧ください。

1 決定ボタンを押す

[簡単セットアップ]画面が表示され、**[TVタイプ]**のプルダウンメニューが表示されます。

TVタイプの選択

2 カーソルボタン(▲/▼)を使って、テレビのタイプを選ぶ

通常のテレビを接続しているとき

→ **[パンスキャン]**または**[レターボックス]**を選びます。

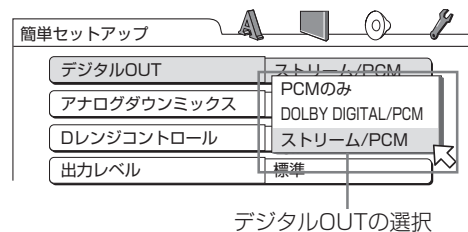
ワイドテレビを接続しているとき

→ **[16:9オート]**または**[16:9ノーマル]**を選びます。

詳しくは32ページをご覧ください。

3 決定ボタンを押す

TVのタイプが設定され、設定画面の2ページ目が表示され、**[デジタルOUT]**のプルダウンメニューが表示されます。

デジタルOUTの選択

4 カーソルボタン(▲/▼)を使って、デジタル音声出力のタイプを選ぶ

背面のデジタル音声出力を使って他の機器と接続しているときに設定します。
デジタル音声出力に何も接続していないときは、お買い上げ時の設定のまま手順**5**へ進みます。
お買い上げ時は**[ストリーム/PCM]**に設定されています。

[PCMのみ]

→ リニアPCMのみに対応しているデジタル端子付きアンプやMDレコーダー、DATデッキなどと接続しているときに選びます。

[DOLBY DIGITAL/PCM]

→ ドルビーデジタルデコーダー機能内蔵のAVアンプやドルビーデジタルデコーダーと接続しているときに選びます。

[ストリーム/PCM]

→ DTSデコーダー、ドルビーデジタルデコーダー、MPEGデコーダー機能を備えたAVアンプや、それらのデコーダーと接続しているとき選びます。

詳しくは33ページをご覧ください。

5 決定ボタンを押す

簡単セットアップ画面が消え、本機のオープニング画面になります。

再び簡単セットアップ画面を表示させるには

設定ボタンを2秒以上押し続けます。

表示窓の明るさを変える

お部屋の明るさに応じて表示窓の明るさを変えることができます。

ディマーボタンを押す

3段階の明るさを選ぶことができます。

スキャンモードを切り換える

本機のスキャンモードは、お買い上げ時は「**インターレース**」に設定されています。
本機のD1/D2端子をプログレッシブスキャン対応テレビに接続したときに、スキャンモードを「**プログレッシブ**」に切り換えます。

デジタルダイレクトプログレッシブ方式について
これまでのプログレッシブスキャン対応DVDプレーヤーでは、プログレッシブスキャンで収録されたDVDビデオの映像信号を、インターレーススキャンに変換してから再度プログレッシブスキャンに戻すという処理を行っていたため、映像がブレたり不自然に映ることがありました。
ビクターのデジタルダイレクトプログレッシブ方式は、DVDビデオのプログレッシブスキャン映像をそのまま出力するので、プログレッシブスキャンが持つ本来の自然で美しい映像の再生を実現しています。

電源ボタンを押して、本機の電源を入れる

VFP-プログレッシブボタンを1秒以上押し続ける

本体のPROGRESSIVEランプが点灯します。

PROGRESSIVEランプが点灯しているとき
本機のスキャンモードは「**プログレッシブ**」です。
PROGRESSIVEランプが消えているとき
本機のスキャンモードは「**インターレース**」です。

スキャンモードが「**プログレッシブ**」のとき、本機の状態や初期設定[映像設定画面]の[映像ソース]の設定およびディスクの収録素材（33ページ）によって、PROGRESSIVEランプの色が次のように変わります。

[映像ソース]設定	ディスクの収録素材	
	フィルム素材	ビデオ素材
[オート]	緑	赤
[フィルム]	緑	緑
[ビデオ（ノーマル）/ビデオ（アクティブ）]	赤	赤

*停止中は、常に赤く点灯します。

お知らせ

- ビクター製以外のプログレッシブスキャン対応テレビの中には、本機のプログレッシブスキャンに適合しないものがあります。
  テレビの映像が不自然に映るときは、スキャンモードを「**インターレース**」にしてください。
- **プログレッシブ映像出力の著作権保護信号について**
  本機のプログレッシブ映像出力（525p）には著作権保護信号が付加されていることがあります。この信号に対応していないテレビ、モニターでは映像が乱れることがあります。このようなときは、スキャンモードを「**インターレース**」にしてお使いください。
  ビクター製のテレビでは、HD-32D1500などが著作権保護信号に対応しています。詳しくは「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

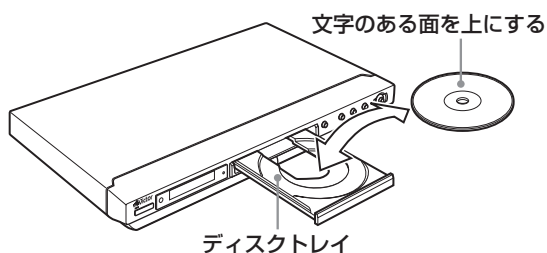
再生する

DVD ビデオ　ビデオ CD　スーパービデオ CD　オーディオ CD

1 ▲(開/閉)またはリモコンの開/閉ボタンを押す

電源が入り、ディスクトレイが出てきます。

2 ディスクトレイにディスクを置く

8センチディスクは内側の凹部に置きます。

3 ▲(開/閉)またはリモコンの開/閉ボタンを押す

ディスクトレイが閉まります。

4 ►(再生)を押す

再生が始まります。
ディスクによっては、ディスクトレイを閉めると自動で再生が始まるものもあります。

ディスクを入れて、すぐにメニューが表示されたときは
ディスクによってはディスクを入れ、ディスクトレイを閉じると、メニュー画面が表示されるものもあります。
このようなディスクのときは、以下の操作をしてメニューから希望の項目を選んで再生します。

項目をカーソルボタンで選ぶとき

カーソルボタン(▲/▼/◄/►)を使って項目を選び、**決定ボタン**を押します。

項目を数字ボタンで選ぶとき

数字ボタンで項目を選び、**決定ボタン**を押します。

ディスクによっては、操作方法がここでの説明と異なることがあります。

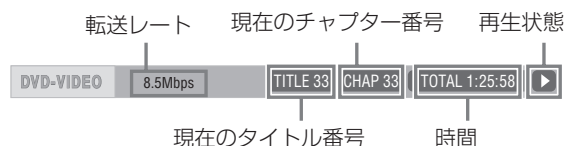
ご注意

- 7ページにある「再生できないディスク」は入れないでください。
- ディスクはトレイの溝に合わせて正しく置いてください。溝に合わないままディスクトレイを閉めると、ディスクが破損したり、ディスクが取り出せなくなる原因となります。

時間表示や再生についての情報を見る

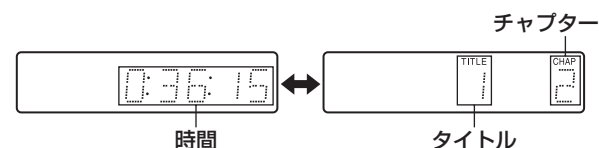
現在再生中のディスクについての情報を表示することができます。情報が表示されるバーをステータスバーといいます。

画面表示ボタンを押す

テレビ画面にディスクのステータスバーが表示されます。
DVDビデオのとき：

ステータスバー表示中に**画面表示ボタン**を1回押すと、ステータスバーの下にメニューバーが表示されます。
メニューバーからさまざまな操作をすることができます。
メニューバーについては24ページをご覧ください。

ステータスバーを消すには

ステータスバーが消えるまで**画面表示ボタン**をくり返し押します。

本体表示窓に表示される情報を変える
表示切換ボタンを押します。
DVDビデオのとき：

停止する

■(停止)を押す

再生が停止します。

一時停止する

II(一時停止)を押す

再生が一時停止になります。

再生を再開するときは、►(再生)を押します。

再生中に表示されるマークについて

再生条件に応じて、下のようなマークがテレビ画面に約数秒間表示されます。これらのマークは**オンスクリーンガイド**といいます。オンスクリーンガイドは表示しないようにすることができます(34ページ)。

- ：複数のアングルが収録されている場面で表示されます(22ページ)。
- ：複数の音声言語が収録されている場面で表示されます(22ページ)。
- ：複数の字幕言語が収録されている場面で表示されます(21ページ)。

ビデオCDのプレイバックコントロール(PBC)機能

ビデオCDのプレイバックコントロール(PBC)機能を使うと、テレビ画面に表示されるメニュー画面から、対話形式で再生したい部分を選んだり検索したりすることができます。また、ディスクの中に高精細な静止画が収録されている場合、動画の4倍以上の解像度で静止画像を再生します。

- PBCをオフにして再生するには、停止中に見たいトラック番号を数字ボタンで指定します。選んだトラックから通常の順番で再生します。

スクリーンセーバーについて

長い時間、静止画を映していると、テレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。初期設定画面(31ページ)を表示中や停止中、またはメニュー再生中など、静止画が表示されてから5分以上何も操作をしないと、画面が暗くなります。

スクリーンセーバー機能はいずれかの操作ボタンを押すと解除され、通常の明るい画面に戻ります。

初期設定[映像設定画面]の[スクリーンセーバー]の設定で、スクリーンセーバーを働かせないようにすることもできます(33ページ)。

あとで続きを再生する [リジューム]

映画鑑賞を途中で中断するときなど、その位置を本機に記憶させておくと、あとでその位置から続きを再生することができます。これを「リジューム」といいます。

本機では、以下の2種類の設定と切(オフ)を選ぶことができます。

リジューム オン：ディスクトレイに入っているディスクの再生位置を記憶します。

ディスクリジューム：ディスクトレイに入っているディスクを含めて、最大30枚までのディスクの再生位置が記憶されます。

リジュームモードの設定の変更は、初期設定で行います。詳しくは34ページをご覧ください。

通常のリジューム再生をする

-リジューム設定が「リジューム オン」でディスク再生中に-
再生位置を記憶させる

中断したいところで■(停止)を押す

再生が中断し、押したときの再生位置が記録されます。再生位置は■(停止)を押すごとに新しく記憶されます。■(停止)を押して再生を中断したときは、テレビ画面に「RESUME STOP」と表示され、本体の表示窓には「RESUME」と表示されます。そのあと、電源を切っても、再生位置の記憶は消えません。

- ディスクを取り出すと、再生位置の記憶は取り消されます。

リジューム再生するには

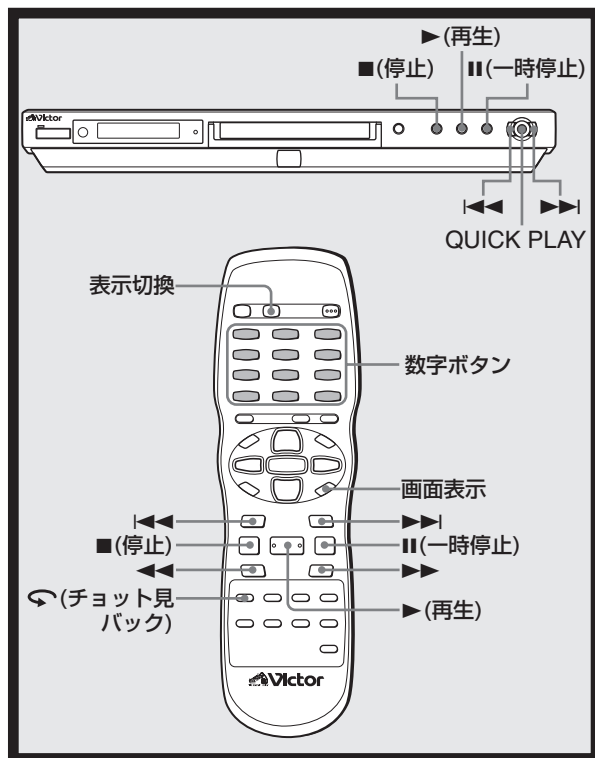
►(再生)を押す

テレビ画面に「RESUME PLAY」と表示され、中断した位置から再生が始まります。

- 電源が「切(スタンバイ)」のときは、電源が入り中断した位置から再生が始まります。
- 電源が「切(スタンバイ)」のとき、電源「入」にしてから►(再生)を押すと再生位置が取り消され、ディスクの最初から再生が始まります。

位置の記憶を取り消し、ディスクの最初から再生するには

停止中に■(停止)を押してから►(再生)を押します。

基本操作

ディスクリジューム再生をする

-リジューム設定が「ディスクリジューム」でディスク再生中に-
再生位置を記憶させる

中断したいところで■(停止)を押す

再生が中断し、押したときの再生位置が記録されます。再生位置は■(停止)を押すごとに新しく記憶されます。■(停止)を押して再生を中断したときは、テレビ画面に「RESUME STOP」と表示されます。そのあと、電源を切っても、再生位置の記憶は消えません。

- 最大30枚までのディスクの再生位置を記憶することができます。30枚を超えて記憶させた場合、古い記憶から順に消えます。

ディスクリジューム再生するには

前回再生を中断したディスクを入れ、►(再生)を押す

テレビ画面に「RESUME PLAY」と表示され、中断した位置から再生が始まります。

- 電源が「切(スタンバイ)」のときは、電源が入り中断した位置から再生が始まります。
- ►(再生)の代わりに開/閉ボタンを押してディスクトレイを閉めたときは、テレビ画面には「RESUME STOP」と、本体の表示窓には「RESUME」と表示され、ディスクリジューム待機状態になります。

位置の記憶を取り消し、ディスクの最初から再生するには

停止中に■(停止)を押してから►(再生)を押します。

ご注意

- **[ディスクリジューム]**で再生位置を記憶したディスクは、初期設定の**[リジューム]**設定を**[オン]**または**[オフ]**に変更すると、それまでのリジューム再生ができなくなります。ただし、**[リジューム]**設定を**[ディスクリジューム]**に戻した場合は、記憶した位置で再生できるようになります。
- PBC対応のビデオCDでは、記憶されている再生位置よりも手前、または後ろから再生されることがあります。
- 両面タイプのDVDビデオの場合、表面と裏面はそれぞれ別々に再生位置が記憶されます。両面タイプのDVDビデオをディスクリジューム再生するときは、再生位置が記憶された面を下にしてディスクトレイに入れてください。
- 再生位置と一緒に、そのとき設定している音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます(21、22ページ)。

いろいろな速さで再生する

通常の1.5倍の速さで再生する【1.5倍速早見再生】

再生中にQUICK PLAYボタンを押す

通常再生中に►►を1回押しても選ぶことができます。

映像と音声が、1.5倍の速さで再生されます。クイックプレイ中は本体のQUICK PLAYボタンのランプが点灯します。

- DVDビデオの字幕を表示中にこの操作をすると、字幕も正常に表示されます。
- デジタル音声出力はステレオのリニアPCMに変換されて再生されます。ただし、DTSで記録されたDVDビデオの音声は再生されません。また、ディスクによっては音程や音質が変わってしまうことがあります。

通常再生に戻す

QUICK PLAYボタンをもう一度押すか►(再生)を押します。

早送り/早戻し再生をする

DVDビデオ　ビデオCD　スーパービデオCD　オーディオCD

【早送り/早戻し再生1】

再生中に、リモコンの◀◀または▶▶を押す

ボタンを押すごとに再生のスピードが速くなります(1.5倍速〜60倍速)。
通常の再生に戻すときは、▶(再生)を押します。

【早送り/早戻し再生2】

再生中に、|◀◀または▶▶|を押し続ける

▶▶|を押し続けると早送り再生(5倍速)、
|◀◀を押し続けると早戻し再生(5倍速)ができます。
ボタンから指を離すと通常の再生に戻ります。

お知らせ

DVDビデオ、ビデオCDやスーパービデオCDを早送り/早戻し再生しているとき音声は出ません。ただし、スーパービデオCD以外は1.5倍速のとき音声が出ます。オーディオCDを早送り/早戻し再生しているときは、断続的に音声が出ます。

画像を1コマずつ送る

一時停止中に、❚❚(一時停止)を押す

❚❚(一時停止)を押すごとに静止画像が次のフレームに進みます。
▶(再生)を押すと通常の再生に戻ります。

スローモーションで再生する

再生中に❚❚(一時停止)を押してから、◀◀または▶▶を押す

▶▶: 順方向のスロー再生 ... スロー (+)
◀◀: 逆方向のスロー再生 (DVDビデオのみ)... スロー (−)
◀◀または▶▶を押すごとにスロー再生のスピードが上がります(1/32倍速〜1/2倍速)。

- スロー再生中、音声は再生されません。
- ビデオCD、スーパービデオCDでは逆方向のスロー再生はできません。

通常の再生に戻すには

▶(再生)を押します。

チョット見バック

DVDビデオ

再生中のシーン10秒前のシーンに戻り再生します。

再生中に(チョット見バック)を押す

再生中の10秒前に戻って再生を開始します。

- タイトルの最初の10秒以内のシーンで(チョット見バック)を押すと、タイトルの頭から再生します。
- チャプター間でこの機能を使うことはできません。
- DVDビデオのソフトによっては、この機能が使えない場合があります。

見たい場面や聞きたい曲を素早く選ぶ

DVDビデオ　ビデオCD　スーパービデオCD　オーディオCD

DVDビデオ　：再生中に
オーディオCD　：いつでも
ビデオCD/スーパービデオCD：停止中またはPBCオフで再生中に

|◀◀または▶▶|を押す

オーディオCD、ビデオCDまたはスーパービデオCDのときは、ボタンを押すと、次のトラックに進むか、前のトラックに戻ります。
DVDビデオのときは、ディスクによって、次のチャプターまたはタイトルに進むか、前のチャプターまたはタイトルに戻ります。

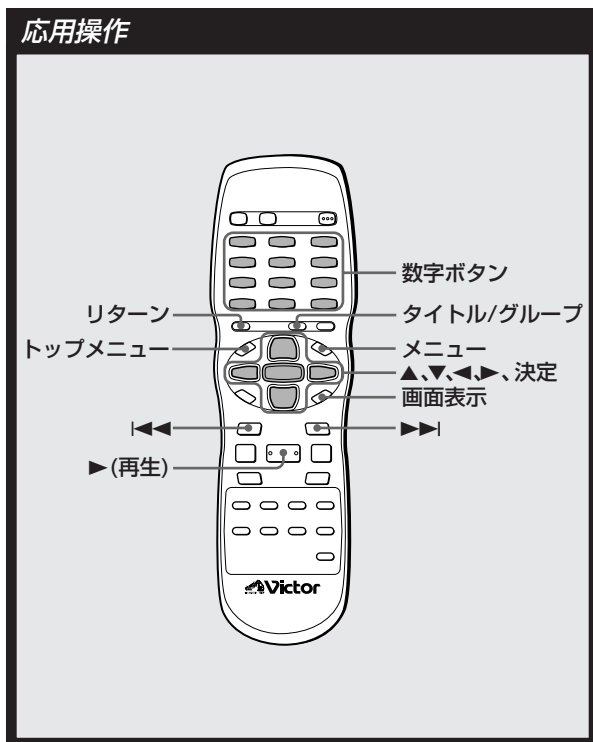
数字ボタン(1〜10、+10)を使って番号を指定する

5番を選ぶには　：**5**を押す
13番を選ぶには：**+10**→**3**と押す
40番を選ぶには：**+10**→**+10**→**+10**→**10**と押す

指定した番号が本体の表示窓に表示され、再生が始まります (ダイレクト再生)。

お知らせ

- DVDビデオにタイトルが複数ある場合、再生中にタイトルを指定することができます。
- DVDビデオは、停止中にチャプターを指定できません。

基本操作

見たいところ、聞きたいところを選んで再生する

DVDビデオのメニューで選ぶ

DVDビデオには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面では、映画のタイトルや曲目、アーティスト情報などが表示されています。このメニュー画面から見たい内容を選ぶことができます。

1 ディスクが入っているときに、トップメニューボタンまたはメニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン▲/▼/◀/▶を押して見たい項目を選び、決定ボタンを押す

選んだ項目から再生されます。

ヒント

- 複数のタイトルが収録されているディスクでは、**トップメニューボタン**を押すと、タイトル名のリストなど、目次の役割を持ったメニュー画面が表示されます。字幕や音声の言語などを選択できるメニュー画面の場合には、**メニューボタン**を押すと表示されます。メニュー構成はディスクによって異なります。操作のしかたは各ディスクの説明書をご覧ください。
- メニュー画面によっては、**数字ボタン**で見たい映像や項目を選んで再生することができます。

ご注意

停止中はメニューボタンが働きません。

PBC対応のビデオCD/スーパービデオCDのメニューで選ぶ

PBC(15ページ)で収録されたビデオCD、またはスーパービデオCDを再生すると、収録された内容がメニューとしてテレビ画面に表示されます。このメニュー画面から、見たい内容を選ぶことができます。

1 停止中に▶(再生)またはトップメニューボタンを押す

PBCのメニュー画面が表示されます。

2 数字ボタン(1〜10、+10)を押して見たい項目を選ぶ

5を選ぶには　:**5**を押す
13を選ぶには:**+10**→**3**と押す
40を選ぶには:**+10**→**+10**→**+10**→**10**と押す

選んだ項目から再生されます。
メニューに戻るには、**リターンボタン**を押します。

ヒント

メニュー画面に「次」または「前」が表示されたときは、⏭を押すとメニューの次ページに進み、⏮を押すとメニューの前ページに戻ります。

数字ボタンでDVDビデオのタイトルを指定する

1 再生中にタイトル/グループボタンを押す

表示窓のタイトル番号表示エリアに「--」が表示されます。

2 数字ボタン(1〜10、+10)を押して見たいタイトルの番号を指定する

5を選ぶには　:**5**を押す
13を選ぶには:**+10**→**3**と押す
40を選ぶには:**+10**→**+10**→**+10**→**10**と押す

ご注意

ディスクによっては、この機能が働かない場合があります。

再生したい位置の時間を指定する【タイムサーチ】

DVDビデオ ビデオCD スーパービデオCD オーディオCD

タイムサーチ機能を使うと、現在のタイトル(DVDビデオ)やディスク(ビデオCD、スーパービデオCD、オーディオCD)の頭からの時間を指定して、再生を始めることができます。

次のときに操作できます

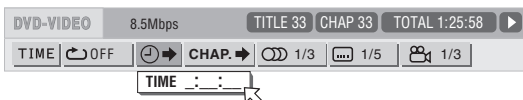
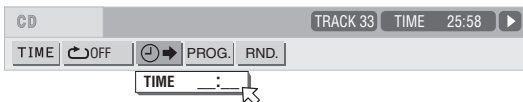
- DVDビデオ/オーディオCD　：再生中または停止中
- ビデオCD/スーパービデオCD：停止中、またはPBC機能を使わずに再生中

画面表示ボタンを2回押す

メニューバーが表示されます。

カーソルボタン◄/►を押して⇖を[時計→]に合わせ、決定ボタンを押す

時間を入力するプルダウンメニューが表示されます。

例：DVDビデオの場合

例：オーディオCDの場合

数字ボタンを押して時間を入力する

指定した時間がプルダウンメニューに表示されます。

数字ボタン(1〜9、0)を使って入力します。+10、10ボタンは使用できません。

例：DVDビデオの場合

2時間34分0秒から再生するときは、**2**→**3**→**4**の順にボタンを押す

TIME　2:34:__

秒を指定しないときは、入力を省略できます。

例：オーディオCDの場合

23分40秒から再生するときは、**2**→**3**→**4**の順にボタンを押す

TIME　　23:4_

最後の「0」は、入力を省略できます。

決定ボタンを押す

指定した時間から再生されます。

数字ボタンの入力を間違えたときは

間違えた数字が消えるまで**カーソルボタン**の◄を押し、そのあと正しい時間を入力し直してください。

メニューバーを消すには

画面表示ボタンを押します。

ご注意

- DVDビデオの中には時間情報が記録されていないものもあります。このようなディスクにはタイムサーチ機能は使えません。
- プログラム再生中はタイムサーチ機能が働きません。

順番を変えて再生する

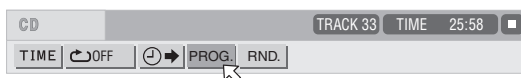
好きな順番で再生する【プログラム再生】

ディスクに収録されているトラックを最大99トラックまで好みの順番で再生することができます。同じトラックを2回以上指定してプログラム再生することもできます。

停止中に画面表示ボタンを2回押す

メニューバーが表示されます。

カーソルボタン◄/►を押して⇖を[PROG.]に合わせ、決定を押す

画面例：オーディオCDの場合

決定ボタンを押す

プログラム設定画面が表示されます。

表示窓に「PROG」が点灯します。

4 数字ボタン(1〜10、＋10)を押して再生したい順にトラックを指定する

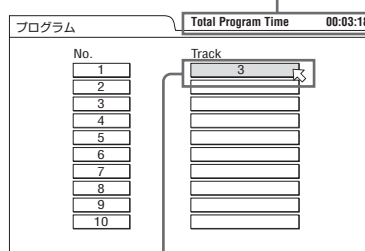
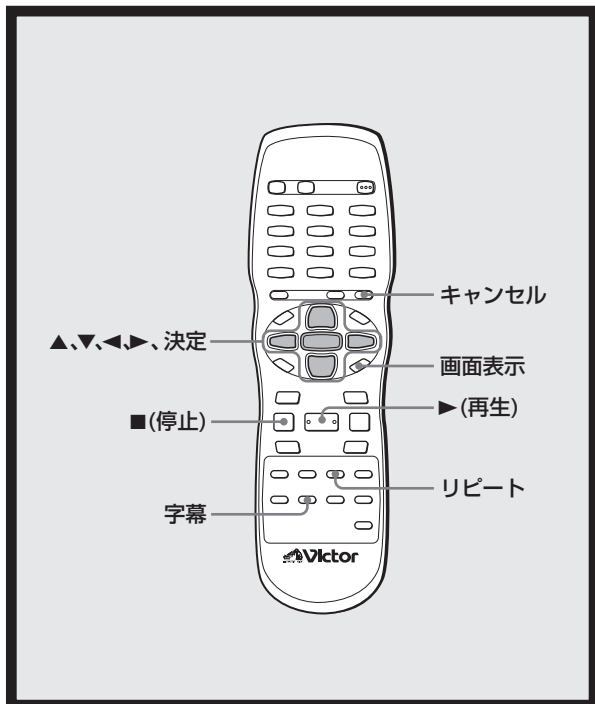
トラック5を選ぶには　：**5**を押す

トラック13を選ぶには：**+10**→**3**と押す

トラック40を選ぶには：**10**→**+10**→**+10**→**10**と押す

総プログラム時間(合計再生時間)

選んだトラック番号

次ページに続く

トラック番号を間違えて指定したときは

カーソルボタンの◀/▶を押して☞を間違えたトラック番号に合わせ、**キャンセルボタン**を押します。そのトラック番号が消えて、あとのトラック番号が上にくり上がります。

5 ►(再生)を押してプログラム再生を始める

ビデオCD/スーパービデオCDの場合:
プログラム再生が始まると、プログラム設定画面が消えます。プログラム再生が終わると、プログラム設定画面が再表示されます。

オーディオCDの場合:
プログラム再生を開始してもプログラム設定画面は表示されたままです。
画面表示ボタンを押すとステータスバーが表示されますが、プログラム再生が終わると、プログラム設定画面が再表示されます。

プログラム再生を止めるには

■(停止)を押します。

プログラムの内容をすべて消すには

プログラム再生を停止したあと、プログラム設定画面が表示された状態で■(停止)を押します。また、電源を切ったときや、ディスクトレイを出したときもプログラムした内容は消えます。

プログラム再生のモードを解除するには

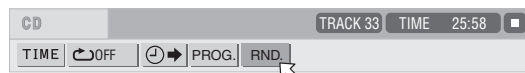
プログラムの内容をすべて消してから、**画面表示ボタン**を押します。

無作為な順番で再生する【ランダム再生】

1 停止中に画面表示ボタンを2回押す

メニューバーが表示されます。

2 カーソルボタン◀/▶を押して☞を RND. に合わせる

画面例:オーディオCDの場合

3 決定ボタンを押す

ランダム再生が始まります。
ビデオCD/スーパービデオCDの場合はメニューバーが消えます。
ランダム再生中は、表示窓に「RND」が点灯します。
すべてのトラックの再生が終わると停止し、ランダム再生のモードが解除されます。

ランダム再生を途中で止めるには

■(停止)を押します。再生が停止し、ランダム再生のモードが解除されます。

リピート再生

タイトル/チャプター/トラック/全トラックをくり返し再生する

次のときに操作できます

- DVDビデオ　:再生中
- ビデオCD/スーパービデオCD:停止中、またはPBC機能を使わずに再生中
- オーディオCD　:いつでも

リピートボタンを押す

停止中にボタンを押したときは、►(再生)を押してリピート再生を始めます。
ボタンを押すごとに、くり返し再生する項目が変わります。本体の表示窓には選ばれたリピート再生のモード表示が次のように点灯します。

⟲:現在のタイトル(DVDビデオ)または全トラック(ビデオCD、スーパービデオCD、オーディオCD)をくり返します。

⟲1:現在のチャプター(DVDビデオ)またはトラック(ビデオCD、スーパービデオCD、オーディオCD)をくり返します。

消灯:リピート再生を取り消します。

テレビ画面にも選ばれたリピート再生のモードが表示されます。

リピート再生を止めるには

■(停止)を押します。

DVDビデオ：再生を停止し、リピート再生のモードが解除されます。

オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCD：
再生を停止しますが、リピート再生のモードは解除されません。

リピート再生のモードを解除するには

リピートボタンを押して、テレビ画面のリピート再生のモード表示を「オフ」にします。本体の表示窓のリピート再生のモード表示が消えて、リピート再生のモードが解除されます。

ご注意

ディスクによっては、リピート設定してもリピート機能が働かないものもあります。

指定した範囲をくり返し再生する【A-Bリピート再生】

次のときに操作できます。

- DVDビデオ、オーディオCD　：再生中
- ビデオCD/スーパービデオCD：PBC機能を使わずに再生中

1 画面表示ボタンを2回押す

テレビ画面にメニューバーが表示されます。

2 カーソルボタン◀/▶を押して↖を[リピート]に合わせ、決定を押す

リピートモードを選ぶプルダウンメニューが表示されます。

3 カーソルボタン▲/▼を押して「A-B」を選ぶ

4 くり返したい部分の頭で決定ボタンを押す(Aポイント)

プルダウンメニューが消え、メニューバーのリピートアイコンが[A-]と表示されます。

5 くり返したい部分の終わりで決定ボタンを押す(Bポイント)

メニューバーのリピートアイコンが[A-B]と表示されます。
いったんAポイントに戻ってから、AポイントとBポイント間のリピート再生を開始します。

A-Bリピート再生のモードを解除するには

カーソルボタン◀/▶を押して↖を[解除]に合わせ、**決定ボタン**を押します。
A-Bリピート再生のモードが解除され、通常の再生が続きます。

ご注意

AポイントとBポイントは、タイトルまたはトラックをまたがって設定できません。

字幕/音声やカメラアングルを切り換える

字幕を切り換える【字幕言語】

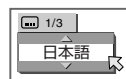
DVD ビデオ　スーパービデオ CD

DVDビデオの中には字幕が複数の言語で収録されているものがあり、希望する言語を選んで再生することができます。

ヒント

複数の字幕が収録されている個所の冒頭で、テレビ画面に[字幕]が表示されます(オンスクリーンガイドがオンに設定されているとき)。

1 再生中に字幕ボタンを押す

テレビ画面に字幕選択表示が現れます。

1/3
日本語
―字幕選択表示

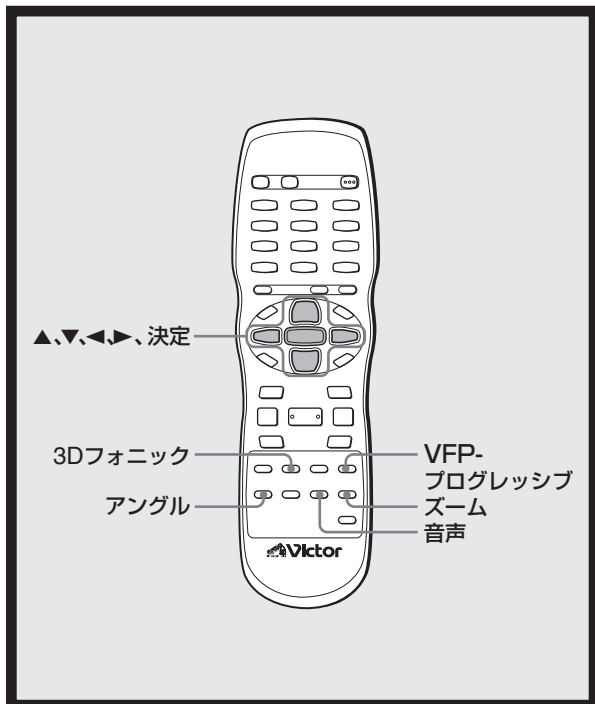
2 カーソルボタン▲/▼または字幕ボタンを押して字幕で表示したい言語を選ぶ

押すごとに字幕の言語が変わります。

3 決定ボタンを押す

字幕選択表示が消え、選んだ言語で字幕が表示されます。
DVDビデオ再生中、メニューバーのプルダウンメニューに表示される字幕言語は、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語です。それ以外は言語コードで表示されます。(32ページ)

ご注意

- スーパービデオCDでは最大4つの字幕が収録できます。カーソルボタン▲または▼を押すと、字幕が収録されている/いないにかかわらず、項目を選択できます。
- 字幕選択表示は、数秒間何も操作しないと自動的にテレビ画面から消えます。

音声を選ぶ【音声言語/音声】

音声の設定を変えて、映画の音声の言語を選んだり、カラオケのボーカルの「あり/なし」を選んで再生することができます。

ヒント

複数の音声が収録されている箇所の冒頭で、テレビ画面に◯))が表示されます(オンスクリーンガイドがオンに設定されているとき)。

1 再生中に音声ボタンを押す

テレビ画面に音声選択表示が現れます。

2 カーソルボタン▲/▼または音声ボタンを押して希望する音声を選ぶ

押すごとに音声が切り換わります。

例:DVDビデオの場合

→ 1/2 日本語 ↔ 2/2 英語 ←

例:ビデオCDの場合

→ST(ステレオ)↔L(左の音)↔R(右の音)←

例:スーパービデオCDの場合

→ST1↔ST2↔L-1↔L-2↔R-1↔R-2←

3 決定ボタンを押す

音声選択表示が消え、選んだ音声で再生されます。

DVDビデオ再生中、メニューバーのプルダウンメニューに表示される音声言語は、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語です。それ以外は言語コードで表示されます。(32ページ)

ご注意

音声選択表示は、数秒間何も操作しないと自動的にテレビ画面から消えます。

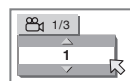
DVDビデオのカメラアングルを切り換える【アングル】

DVDビデオの中には、同一の場面を複数のカメラで異なる角度から撮影した映像(マルチアングル)を収録しているものがあり、好みのアングルを選んで再生することができます。

ヒント

マルチアングルで収録された場面の冒頭で、テレビ画面にが表示されます(オンスクリーンガイドが「オン」に設定されているとき)。

1 再生中にアングルボタンを押す

テレビ画面にアングル選択表示が現れます。

アングル選択表示

2 カーソルボタン▲/▼またはアングルボタンを押して見たいアングルを選ぶ

押すごとにアングルが変わります。

3 決定ボタンを押す

アングル選択表示が消え、選んだアングルで再生されます。

ご注意

アングル選択表示は、数秒間何も操作しないと自動的にテレビ画面から消えます。

画像や音声にアレンジを加える

画面を拡大する【ズーム】

1 ズームボタンを押す

押すごとに次の倍率で拡大されます(1.8倍、4倍、8倍、16倍、32倍、64倍)。テレビ画面の左上に拡大されている部分のガイドが約5秒間表示されます。

レターボックスサイズのソフト(横長の映像)を通常のテレビで楽しむとき、1.8倍に拡大すると上下の黒帯がなくなります。なお、このとき左右の映像の一部が映らなくなったり、ディスクに収録されているサイズによっては上下に黒帯が残ることがあります。

カーソルボタン▲/▼/◀/▶を押して拡大する位置を調節する

ズームを解除するには

決定ボタンを押します。

ご注意

拡大すると、画面が悪化したり、画像がブレることがあります。

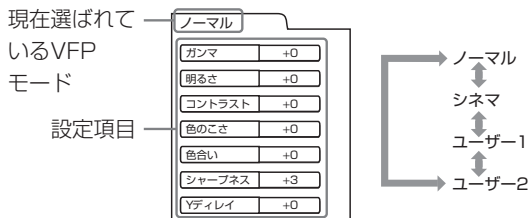
画質を調節する【VFP】

VFP (Video Fine Processor:ビデオファインプロセッサー)機能を使って、映像のジャンルや鑑賞する部屋の照明、好みに合わせて、画質を調節することができます。

再生中にVFP-プログレッシブボタンを押す

テレビ画面にVFPモード選択表示が現れます。

カーソルボタン◀/▶を押してVFPモードを選ぶ

押すごとにVFPモードが次のように変わります。

[ノーマル]:ふつうの明るさの部屋でテレビ番組を見るのに適した設定です。

[シネマ]:照明を落とした部屋で映画ソフトを見るのに適した設定です。

[ノーマル]と**[シネマ]**の設定は固定されていますが、**[ユーザー1]**と**[ユーザー2]**の設定は以下の手順**3**～**6**の操作で変更することができます。

3 カーソルボタン▲/▼を押して設定を変えたい項目を選ぶ

- **ガンマ**
  画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節します。黒が沈みがちなソフトの再生に有効です。
  (調節幅:+4～−4)
- **明るさ**
  画面の明るさを調節します。
  (調節幅:+16～−16)
- **コントラスト**
  画面のコントラストを調節します。
  (調節幅:+16～−16)
- **色のこさ**
  画面の色の濃さを調節します。
  (調節幅:+16～−16)
- **色合い**
  画面の色合いを調節します。人物の肌の色が自然な感じになるのが目安です。
  (調節幅:+16～−16)
- **シャープネス**
  画面のシャープさを調節します。
  (調節幅:+3～0)
- **Yディレイ**
  画面の色ずれを調節します。
  (調節幅:+2～−2)

4 決定ボタンを押す

選んだ項目の設定表示が現れます。

5 カーソルボタン▲/▼を押して数値を変更する

数値を大きくすると設定レベルが上がります。

6 決定ボタンを押す

続けて他の項目を設定するときは、手順**3**から**6**をくり返します。

VFPモード選択表示を消すには

VFP-プログレッシブボタンを押します。

ご注意

VFPモード選択表示は、10秒以上何も操作しないと自動的にテレビ画面から消えます。

音声にサラウンド感を出す【3Dフォニック】

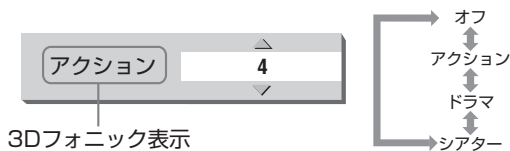
3Dフォニックの機能を使うと、2本のスピーカーでサラウンドの効果を擬似的に演出することができます。

再生中に3Dフォニックボタンを押す

テレビ画面に3Dフォニックモード選択表示が現れます。

2 カーソルボタン◀/▶を押して3Dフォニックモードを選ぶ

次ページに続く

押すごとに3Dフォニックモードが次のように変わります。

・**アクション**：アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。
・**ドラマ**：包まれるような自然な雰囲気によりリラックスして映画が楽しめます。
・**シアター**：主要な劇場で映画を見ているような音響効果が楽しめます。

3 **カーソルボタン▲/▼を押して効果レベルを調節する**
1～5の範囲で選べます。数値を大きくすると効果が強まります。

3Dフォニックモード選択表示を消すには
3Dフォニックボタンを押します。

ご注意
- 3Dフォニックモード選択表示は、10秒以上何も操作しないと自動的にテレビ画面から消えます。
- 3Dフォニックの効果は、ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオの音声に限り正しい効果が得られます。ただし、本機のデジタル端子につないでいるときは、この効果を働かせることはできません。
- ドルビーデジタルでリアの音声成分が収録されていないDVDビデオの場合、3Dフォニックの設定は変えられますが正しい効果は得られません。

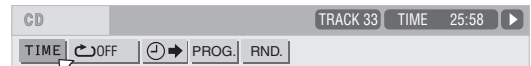
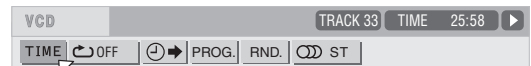
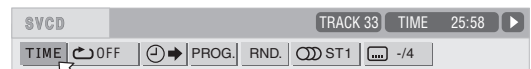
メニューバーで操作する

メニューバーを表示させる

1 **ディスクが入っているとき画面表示ボタンを押す**
テレビ画面にステータスバーが表示されます。

2 **画面表示ボタンを押す**
ステータスバーの下にメニューバーが表示されます。ステータスバーとメニューバーの表示は、ディスクの種類により異なります。

DVDビデオの場合

オーディオCDの場合

ビデオCDの場合

スーパービデオCDの場合

メニューバー、ステータスバーの表示を消すには
画面表示ボタンを押します。

メニューバーの基本操作

1 **カーソルボタン◄/►を押してアイコンを選ぶ**
選んだアイコンに⇖が移動します(選択されている項目は青色で表示されます)。

2 **決定ボタンを押す**
プルダウンメニューが表示されます。
アイコンによってはプルダウンメニューが表示されないものや、ディスクの再生中に操作できないものがあります(操作できないアイコンに⇖を移動することはできません)。

DVDビデオのメニューバーの操作

TIME *時間表示選択*

表示窓およびステータスバーに表示させるディスクの時間情報のモードを選びます。

決定ボタンを押して時間モードを選ぶ

- TOTAL：再生中のタイトルの経過時間
- T.REM ：再生中のタイトルの残り時間
- TIME ：再生中のチャプターの経過時間
- REM ：再生中のチャプターの残り時間

リピートモード（20ページもご覧ください）

再生中のリピートモードを選びます。

1.プルダウンメニューを表示させる

2.カーソルボタン▲/▼を押してリピートモードを選ぶ

- **チャプター**：現在のチャプターをくり返します。
- **タイトル** ：現在のタイトルをくり返します。
- **A-B** ：A-Bリピート

3.決定ボタンを押す

選んだリピートモードが有効になります。

タイムサーチ（19ページもご覧ください）

現在のタイトルの頭からの経過時間を指定して再生を始めます。

CHAP. *チャプターサーチ*

再生するチャプターを選びます。

1.プルダウンメニューを表示させる

2.数字ボタン（1～9、0）を押して再生したいチャプターの番号を入力する（例：10を入力するときは1、0と押す）

3.決定ボタンを押す

指定したチャプターから再生が始まります。

音声言語/音声（22ページもご覧ください）

再生中に音声言語/音声を選びます。

1.プルダウンメニューを表示させる

2.カーソルボタン▲/▼を押して音声言語/音声を選ぶ

3.決定ボタンを押す

選んだ音声言語/音声で再生されます。

字幕言語（21ページもご覧ください）

再生中に字幕の言語を選びます。

1.プルダウンメニューを表示させせます。

2.カーソルボタン▲/▼を押して字幕言語を選ぶ

3.決定ボタンを押す

選んだ字幕言語で再生されます。

アングル（22ページもご覧ください）

再生中、マルチアングルで収録された箇所でアングルを選びます。

1.プルダウンメニューを表示させる

2.カーソルボタン▲/▼を押してアングルを選ぶ

3.決定ボタンを押す

選んだアングルで再生されます。

オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのメニューバーの操作

TIME *時間表示選択*

表示窓およびステータスバーに表示させるディスクの時間情報のモードを選びます。

決定ボタンを押して時間モードを選ぶ

- TIME ：再生中のトラックの経過時間
- REM ：再生中のトラックの残り時間（停止中の場合は、トラックの総時間）
- TOTAL：ディスクの頭からの経過時間
- T.REM ：ディスクの残り時間（停止中の場合は、ディスクの総時間）

リピートモード（20ページもご覧ください）

リピートモードを選びます。

1.プルダウンメニューを表示させる

2.カーソルボタン▲/▼を押してリピートモードを選ぶ

- **トラック**：現在のトラックをくり返します。
- **ALL** ：ディスクのすべてのトラックをくり返します。
- **A-B** ：A-Bリピート

3.決定ボタンを押す

選んだリピートモードが有効になります。

タイムサーチ（19ページもご覧ください）

ディスクの頭からの経過時間を指定して再生を始めます。

PROG. *プログラム（19ページもご覧ください）*

停止中にトラックの再生順序を指定します。

RND. *ランダム（20ページもご覧ください）*

停止中に選んでランダム再生を始めます。

音声（22ページもご覧ください）

ビデオCD/スーパービデオCDの再生中にオーディオチャンネルを選びます。

1.プルダウンメニューを表示させる

2.カーソルボタン▲/▼を押してオーディオチャンネルを選ぶ

3.決定ボタンを押す

選んだ音声で再生されます。

字幕（21ページもご覧ください）

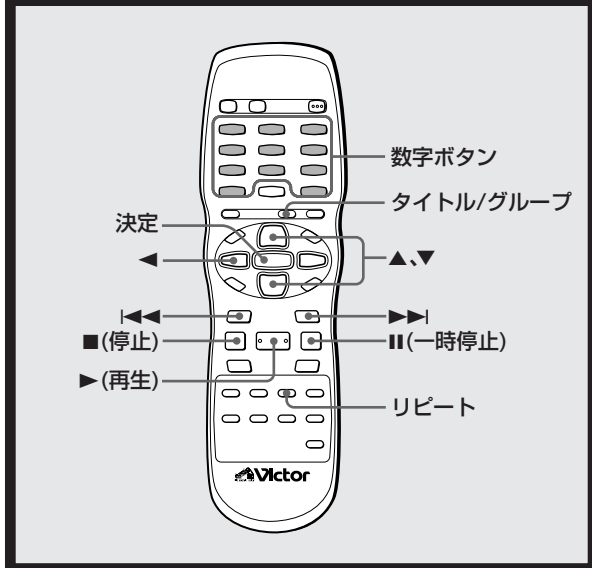
スーパービデオCDの再生中に字幕を選びます。

1.プルダウンメニューを表示させる

2.カーソルボタン▲/▼を押して字幕を選ぶ

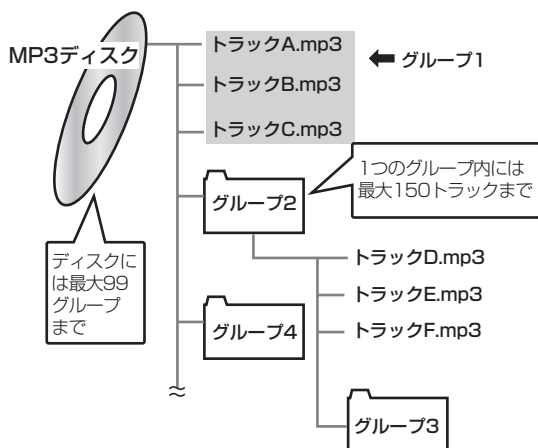
3.決定ボタンを押す

選んだ字幕で再生されます。

MP3ディスクの再生

MP3ディスクの操作

MP3ディスクでは、各曲がファイルとして記録されています。複数のファイルをカテゴリーまたはアーティストなどのフォルダにまとめて分類することができます。
ファイルは**トラック**として扱います。1つ以上のファイル(トラック)を含むフォルダは**グループ**として扱います。
- MP3ファイルとJPEGファイルの両方が収録されているディスクの場合、初期設定[映像設定画面]の[MP3/JPEG]で設定したファイルを再生します。

MP3について

本機では、MP3ディスクのトラック(MP3ファイル)とグループ(フォルダ)は、次のように認識します。
- トラックの入っていないグループは認識されません。
- グループに属さないトラックはグループ1のトラックとして扱われます。
- 本機は各グループ内に最大150トラック、ディスク内に最大99グループまで認識できます。これらを超える場合、本機は超えた分を認識せず、再生を行いません。また、グループ(フォルダ)内にMP3以外のファイルが含まれているときは、本機が認識できるMP3トラックの数が150を下回ることがあります。

本機で再生できるMP3ディスク

- ISO9660フォーマットで記録されているMP3ディスク
- 本機では、サンプリング周波数44.1kHz、転送レート128kbpsで作成されたMP3ディスクを推奨します。

基本操作

MP3ディスクの基本操作には次のボタンを使います。

決定　：停止中に押すと再生を始めます。
►(再生)　：停止中または一時停止中に押すと再生を始めます。
■(停止)　：再生を停止します。
II(一時停止)：再生を一時停止します。
⏮/⏭　：再生中に押すと、前後のトラックに移動して再生を続けます。停止中に押すと、前後のトラックを選曲します。

再生中に►(再生)を押すか、■(停止)を押して再生を止めてから►(再生)を押すと、現在のトラックの頭から再生が始まります。

ご注意
- 本機では「.mp3」の拡張子がついたファイルを再生できます(大文字小文字が混在した拡張子も可)。
- パケットライト方式(UDFフォーマット)で記録されたディスクは再生できません。
- 本機はID3タグ情報を表示しません。
- マルチセッションで記録されたディスクも再生することができます。
- ディスクの記録状態や特性により再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- MP3ディスクのプログラム/ランダム再生はできません。
- MP3ディスクでは◀◀、▶▶ボタンを使って早送り、早戻し再生をすることはできません。

グループやトラックを選ぶ

MP3ディスクを入れると、本機はディスクを読み込んでからテレビ画面にMP3コントロール画面を表示します。

以下の操作では、MP3コントロール画面から再生するグループやトラックを指定することができます。

1 グループリストが選択されていることを確認する

右欄のトラックリストが選択されている場合は、カーソルボタンの◀を押して左欄のグループリストに移動してください。

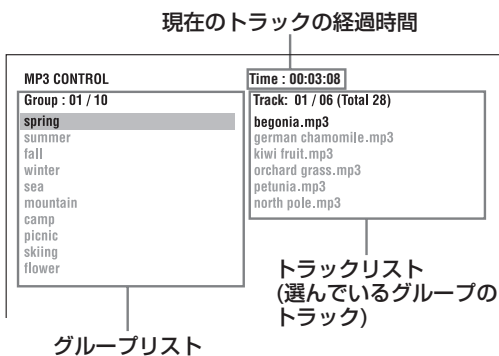
2 カーソルボタン▲/▼を押して再生したいグループを選ぶ

右欄には選んだグループ内のトラックが表示されます。

⏮/⏭を押してトラックを選んで、決定ボタンまたは►（再生）を押す
または
数字ボタン（1～10、＋10）を押して再生したいトラックの番号を指定する

トラック5を選ぶには　：5を押す
トラック13を選ぶには：＋10→3と押す
トラック40を選ぶには：＋10→＋10→＋10→10と押す

選んだトラックから再生されます。

ヒント

カーソルボタンの►を押して右欄のトラックリストに移動してから、⏮/⏭を押してトラックを選ぶこともできます。

ご注意

- MP3トラック(ファイル)のファイル名に、漢字、ひらがな、カタカナ、または全角英数字が使用されていると、MP3コントロール画面でファイル名が正しく表示されないことがあります。
- MP3コントロール画面には、MP3ファイルのみ表示されます。
- MP3コントロール画面に表示されるトラック/グループの順序は、パソコンの画面に表示されるファイル/フォルダの順序と異なることがあります。

グループを直接選ぶ

タイトル/グループボタンを使って、再生したいグループを直接選ぶことができます。

タイトル/グループボタンを押す

表示窓のグループ表示エリアに「--」が表示されます。

数字ボタン（1～10、＋10）を押して再生したいグループの番号を指定する

グループ5を選ぶには　：5を押す
グループ13を選ぶには：＋10→3と押す
グループ40を選ぶには：＋10→＋10→＋10→10と押す

表示窓に「--」が表示されている間に指定します。
「--」表示が消えてしまったときは、再度タイトル/グループを押して操作をやり直してください。
選んだグループのトラック1から再生が始まります。

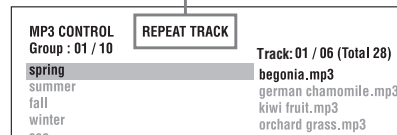
数字ボタン（1～10、＋10）を押してトラックを指定する

指定したトラックから再生が始まります。
数字ボタンの代わりに、⏮/⏭またはカーソルボタンの▲/▼を押してトラックを選ぶこともできます。

リピート再生

リピートボタンを押す

押すごとにリピート再生のモードが変わります。
停止中にリピートを押した場合は、**決定ボタン**またはカーソルボタン▲/▼を押してリピート再生を始めます。

MP3コントロール画面の表示	表示窓の表示	リピート機能
REPEAT TRACK	🔁1	現在のトラックをくり返す
REPEAT GROUP	🔁	現在のグループ内の全トラックをくり返す
REPEAT ALL	🔁	ディスク内の全トラックをくり返す
表示なし	表示なし	リピート再生を解除する

リピート再生を止めるには

■(停止)を押します。リピート再生のモードは解除されません。

リピート再生のモードを解除するには

再生中は、**リピートボタン**を押して表示窓のリピート再生のモード表示(🔁または🔁1)を消します。
停止中は、**リピートボタン**を押してMP3コントロール画面のリピート再生のモード表示を消します。

JPEGディスクの再生

JPEGディスクの操作

JPEGディスクでは、静止画が「ファイル」として記録されています。複数のファイルをカテゴリー別などの「フォルダ」にまとめて分類し、フォルダの中にフォルダを作って階層構造にすることができます。
1つ以上のファイルを含むフォルダはグループとして扱います。

- JPEGファイルとMP3ファイルの両方が収録されているディスクの場合、初期設定[映像設定画面]の[MP3/JPEG]で設定したファイルを再生します。

JPEGディスクのファイルとグループ

本機では、JPEGディスクのファイルとグループ(フォルダ)は、次のように認識します。

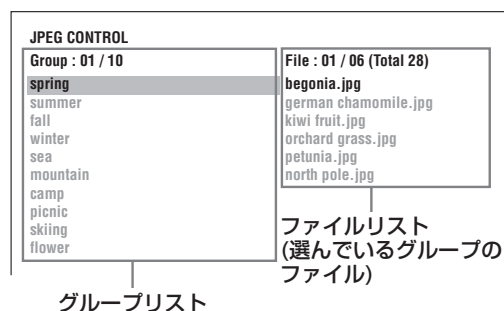
- ファイルが入っていないグループは認識されません。
- グループに属さないファイルはグループ1のファイルとして扱われます。
- 本機は各グループ内に最大150ファイル、ディスク内に最大99グループまで認識します。これらを超える場合、本機は超えた分を認識せず、再生を行いません。また、グループ(フォルダ)内にJPEG以外のファイルが含まれているときは、本機が認識できるJPEGファイルの数が150を下回ることがあります。

本機で再生できるJPEGファイル

- ISO9660フォーマットで記録されているJPEGディスク
- JPEGファイルの解像度は「640 × 480」をおすすめします。
- 本機で再生できるのはベースライン方式のJPEGファイルだけです。

基本操作

好みのファイルを再生する

JPEGディスクを本機に入れると、ディスクを読み込んだあとにJPEGコントロール画面がテレビ画面に表示されます。

以下のように操作して、JPEGコントロール画面から再生するファイルを指定します。

グループリストが選択されていることを確認する

右欄のファイルリストが選択されている場合は、カーソルボタンの◀を押して左欄のグループリストに移動してください。

カーソルボタン▲/▼を押して再生したいグループを選ぶ

右欄には選んだグループ内のファイルが表示されます。

⏮/⏭を押してファイルを選んで、決定ボタンを押す

選んだファイル(静止画)がテレビ画面に表示されます。

ヒント

カーソルボタンの▶を押して右欄のファイルリストに移動してから、▲/▼を押してファイルを選ぶこともできます。

他の静止画を見たいときは

⏭を押すと次の静止画を表示します。

⏮を押すと前の静止画を表示します。

- カーソルボタンの▲/▼を使って選ぶこともできます。

静止画をテレビ画面から消すには

■またはメニューボタンを押します。

静止画が消え、JPEGコントロール画面が表示されます。

ご注意

- 再生できないJPEGファイルの場合、テレビ画面は黒い画面になります。このとき、停止や次のファイルを選ぶなどの操作はできますが、時間がかかります。
- パケットライト方式(UDFフォーマット)で記録されたディスクは再生できません。
- マルチセッションで記録されたディスクも再生することができます。
- ファイルの特性や記録状態により、再生できなかったり、ファイルの表示に時間がかかることがあります。
- JPEGディスクのプログラム/ランダム再生はできません。
- 同じ静止画が5分以上表示されるとスクリーンセーバーが働きます。スライドショー再生しているとき、スクリーンセーバーは働きません。
- 「.jpg」「.jpeg」「.JPG」「.JPEG」の拡張子のついたファイルを再生できます(大文字小文字が混在した拡張子も可)。
- JPEGファイルのファイル名に漢字、ひらがな、カタカナ、および全角英数字が使用されていると、ファイル名が正しく表示されないことがあります。
- 「640 × 480」以上の解像度のファイルは、表示に時間がかかることがあります。
- 水平解像度が2400ピクセルを超える画像は、本機では再生できません。

画面を拡大するには

JPEG画像表示中に、以下のように操作します。

- スライドショー(次項)再生中は拡大できません。

ズームボタンを押す

押すごとに、1.8倍、4倍、8倍、16倍、32倍、64倍と拡大されます。

カーソルボタン▲/▼/◀/▶を押して拡大表示したい部分を選ぶ

スライドショー再生する

ファイルを約3秒ずつ自動的に連続して再生します。

ディスクの最初からスライドショー再生する

▶(再生)を押す

ディスクの最初からスライドショー再生が始まります。

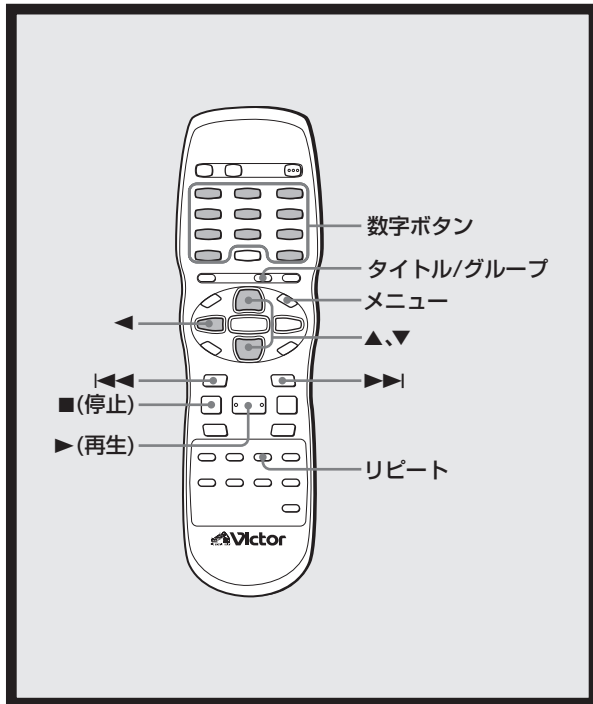
スライドショー再生を途中でやめるには

■(停止)または**メニューボタン**を押します。

JPEGコントロール画面が表示されます。このとき▶(再生)を押すと、スライドショー再生をやめたファイルから再生を開始します。

スライドショー再生を一時停止するには

⏸(一時停止)または**決定ボタン**を押します。

▶(再生)を押すと、次のファイルからスライドショー再生を開始します。

指定したファイルからスライドショー再生をする

-JPEGコントロール画面から-

1 グループリストが選択されていることを確認する

右欄のファイルリストが選択されている場合は、カーソルボタンの◄を押して左欄のグループリストに移動してください。

2 カーソルボタン▲/▼を押して再生したいグループを選ぶ

右欄には選んだグループ内のファイルが表示されます。

3 I◄◄/►►Iを押してファイルを選んで、決定ボタンを押す

4 ►(再生)を押す

選んだファイルからスライドショー再生が始まります。

-タイトル/グループボタンを使って-

1 タイトル/グループボタンを押す

表示窓のグループ表示エリアに「--」が表示されます。

2 数字ボタン(1～10、＋10)を押して再生したいグループの番号を指定する

グループ5を選ぶには　：**5**を押す
グループ13を選ぶには：**＋10**→**3**と押す
グループ40を選ぶには：**＋10**→**＋10**→**＋10**→**10**と押す

3 数字ボタン(1～10、＋10)を押してファイルを指定する

指定したファイルからスライドショー再生が始まります。
ファイルを指定しないと、グループの最初のファイルからスライドショー再生します。

スライドショーのリピート再生

JPEGコントロール画面が表示された状態で、以下のように操作します。

1 リピートボタンを押す

押すごとにリピート再生のモードが変わります。

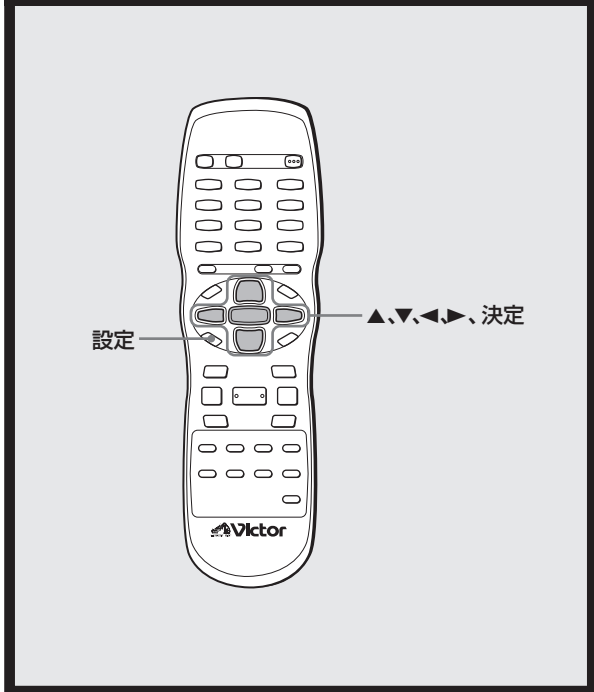
JPEGコントロール画面の表示	表示窓の表示	リピート機能
REPEAT ALL	⟲	ディスク内の全ファイルをくり返す
REPEAT GROUP	⟲	現在のグループ内の全ファイルをくり返す
表示なし	表示なし	リピート再生を解除する

2 ►(再生)を押す

リピート再生を止めるには

■(停止)を押します。リピート再生のモードは解除されません。

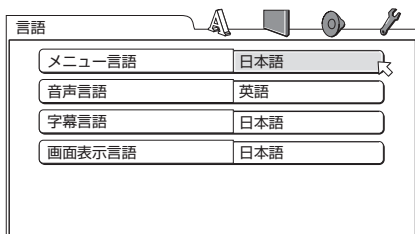
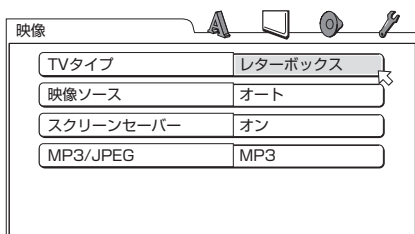
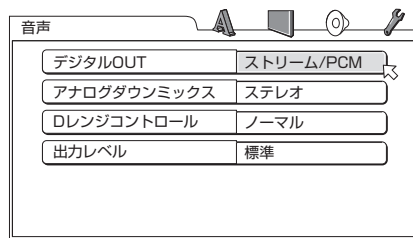
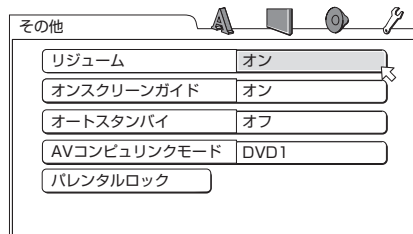
リピート再生のモードを解除するには

JPEGコントロール画面が表示されているときに■(停止)または**メニューボタン**を押し、続いて**リピートボタン**を押してリピート再生のモード表示を消します。

初期設定画面の操作

初期設定とは、お買い上げ時にすでに設定されている各種設定のことです。通常は初期設定を変更する必要はありませんが、本機をワイドテレビにつないだ場合など、お使いの環境にあわせて設定を変更するときにお読みください。

初期設定画面について

初期設定画面には、「言語設定画面」、「映像設定画面」、「音声設定画面」、「その他設定画面」の4つの設定画面があり、それぞれに設定項目があります。

言語設定画面

映像設定画面

音声設定画面

その他設定画面

初期設定画面で項目を設定する

1 停止中に設定ボタンを押す

テレビ画面に4つの初期設定画面のいずれかが表示されます。画面右上には4つの初期設定画面のアイコンが表示されます。

:言語設定画面のアイコン

:映像設定画面のアイコン

:音声設定画面のアイコン

:その他設定画面のアイコン

2 カーソルボタン◀/▶を押して表示したい初期設定画面のアイコンを選ぶ

選んだ初期設定画面が表示されます。

3 カーソルボタン▲/▼を押して⇖を設定したい項目に合わせる

選んだ項目の色が変わります。

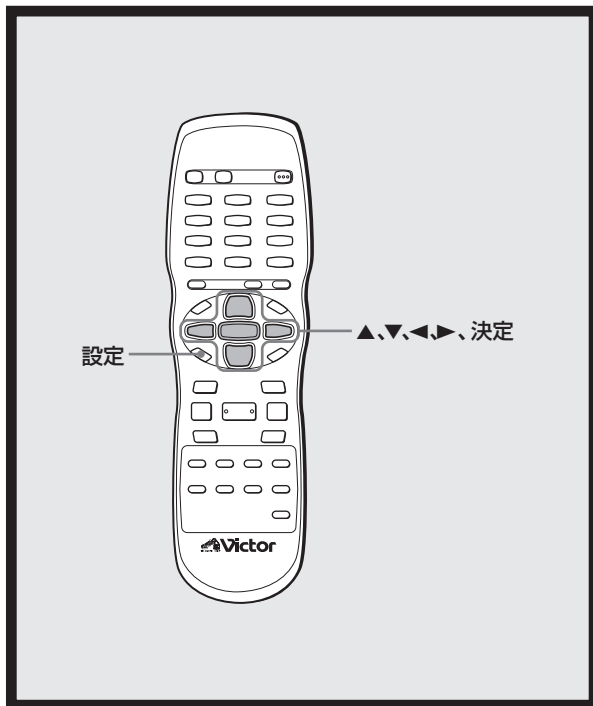
4 決定ボタンを押す

選んだ項目のプルダウンメニューが表示されます。

選んだ項目のプルダウンメニュー

5 カーソルボタン▲/▼を押してプルダウンメニューから設定を選び、決定ボタンを押す

設定が完了します。

各設定項目の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

初期設定画面を消すには

設定ボタンを押します。

ご注意

MP3ディスクやJPEGディスクが入っているときは初期設定画面が表示されません。

言語設定画面

メニュー言語

DVDビデオのメニュー画面に表示される言語を選びます。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語、AAからZUまでの言語コード

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
- 言語コードの詳細は、43ページ「付録B:言語コード一覧」をご覧ください。

音声言語

DVDビデオの音声言語を選びます。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語、AAからZUまでの言語コード

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
- 言語コードの詳細は、43ページ「付録B:言語コード一覧」をご覧ください。

字幕言語

DVDビデオの字幕言語を選びます。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

オフ、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語、AAからZUまでの言語コード

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときには、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
- 言語コードの詳細は、43ページ「付録B:言語コード一覧」をご覧ください。

画面表示言語

初期設定画面の言語を選びます。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

日本語、英語

ご注意

- 再生中は「画面表示言語」以外の操作ができません。
- MP3コントロール画面やJPEGコントロール画面の言語を変えることはできません。

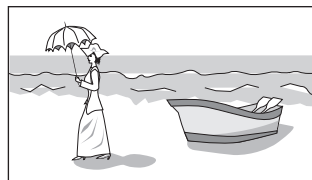
映像設定画面

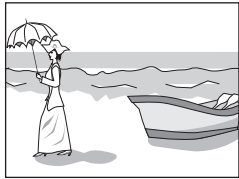
TVタイプ

お使いのテレビに合わせて、ワイド画面フォーマットで収録されたDVDビデオを再生するときの画面表示方法を選びます。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

16:9ノーマル、16:9オート、レターボックス、パンスキャン

- **[16:9ノーマル]**は、画面サイズが16:9に固定されているワイドテレビと接続したときに設定します(4:3で収録されたDVDビデオを再生するとき、本機が出力信号の画面幅を自動調節します)。

- **[16:9オート]**は、普通のワイドテレビと接続したときに設定します。
- **[レターボックス]**は、通常のテレビ(縦横比4:3)に接続したときに設定します。上下に黒い帯がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。

- **[パンスキャン]**は、通常のテレビ(縦横比4:3)に接続したときに設定します。左右両端が切り取られた状態で映ります。上下に黒い帯は映りません。ディスクがパンスキャンに対応していないときは、この設定を選んでいてもレターボックス表示になります。

映像ソース

ディスクに収録されている映像素材に適した設定を選びます。映像素材に応じた最適な画質が得られます。

設定項目(　　がお買い上げ時の設定です)

オート、フィルム、ビデオ(ノーマル)、ビデオ(アクティブ)

- **[オート]**にすると素材のタイプ(ビデオ/フィルム)を自動判定します。ビデオ素材とフィルム素材が混在した映像に適しています。通常はこの設定にします。
- フィルム素材またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材のディスクのときは**[フィルム]**を選びます。
- 動きの少ないビデオ素材のディスクのときは**[ビデオ(ノーマル)]**を選びます。
- 動きの激しいビデオ素材のディスクのときは**[ビデオ(アクティブ)]**を選びます。

スクリーンセーバー

画面の焼き付きを防止するスクリーンセーバー機能を使うか、使わないかを選びます。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

オン / オフ

MP3/JPEG

1枚のCD-R/RWディスクにMP3、JPEGの両ファイルが含まれている場合、どちらのファイルを再生可能にするかを選びます。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

MP3 /JPEG

- **[MP3]**は、MP3ファイルを再生するときに設定します。
- **[JPEG]**は、JPEGファイルを再生するときに設定します。

音声設定画面

デジタルOUT

本機のデジタル音声出力端子に接続する機器の種類によって設定します。デジタル音声出力端子に何もつながない場合は設定する必要はありません。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

PCMのみ、DOLBY DIGITAL/PCM、ストリーム/PCM

- **[PCMのみ]**は、リニアPCMのみ対応しているデジタル端子付きアンプやMDレコーダー、DATデッキなどと接続するときに設定します。
- **[DOLBY DIGITAL/PCM]**は、ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続したときに設定します。
- **[ストリーム/PCM]**は、DTSデコーダー、ドルビーデジタルデコーダー、MPEGデコーダーの機能を備えたアンプ、またはそれぞれのデコーダーと接続したときに設定します。

ご注意

- DTS音声信号はデジタル音声出力端子からのみ出力されます。
- 本機のデジタル音声出力端子を、DTSデコーダーを搭載していない機器に接続しているときは、DTSのディスクを再生しないでください。大音量により、耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損する恐れがあります。DTSディスクを再生するときは、DTSデコーダーを搭載した機器に接続してください。

アナログダウンミックス

サラウンドオーディオで記録されたDVDビデオを正しく再生するため、接続する機器に合わせて選びます(3Dフォニック機能が働いているときは、この機能は働きません)。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

ドルビーサラウンド、ステレオ

- **[ドルビーサラウンド]**は、本機のアナログ音声出力をドルビーサラウンド対応のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するときに設定します。
- **[ステレオ]**は、本機のアナログ音声出力を通常のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するときに設定します。また、DVDビデオの音声をMDやカセットテープに録音するときに設定します。

Dレンジコントロール

ドルビーデジタルで記録されたDVDビデオの音声のダイナミックレンジを調節できます。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

ワイドレンジ、ノーマル、TVモード

- **[ワイドレンジ]**を選ぶと、1チャンネルまたは2チャンネルのドルビーデジタルDVDビデオで、ダイナミックレンジを圧縮せず、迫力ある音声をそのまま再生します。
- 通常は**[ノーマル]**の設定にします。
- **[TVモード]**は小さい音までよく聞こえるようにします(ダイナミックレンジTVモード)。テレビのスピーカーで音を聞いているときに効果的です。

出力レベル

本機のアナログ音声出力端子から出力されるアナログ音声信号の出力レベルを下げることができます。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

標準、小

- スピーカーからの音声がひずむ場合、**[小]**を選んでください。

ご注意

- 「出力レベル」で設定した内容は、デジタル音声出力から出力される音声には影響しません。

その他設定画面

リジューム

リジューム機能を使うか、使わないかを選びます。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

オン、オフ、ディスクリジューム

- **[オン]**を選ぶと、リジューム機能が働き、ディスクを止めたところ(リジュームポイント)から続けて再生することができます。リジュームポイントはディスクを取り出すと消去されます。
- **[オフ]**を選ぶと、リジューム機能は働きません。
- **[ディスクリジューム]**を選ぶと、最大30枚のディスクについてリジューム機能が働きます(ディスクを取り出しても、30枚まではリジュームポイントを記憶しています)。

オンスクリーンガイド

再生中の映像に重ねて、ディスクの収録情報や本機の動作状態を示すアイコンや文字を表示するか、表示しないかを選びます。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

オン、オフ

- アイコンや文字を表示するには**[オン]**を選びます。

オートスタンバイ

60分または30分間、本機の停止状態が続いたとき、本機の電源を自動的に「切(スタンバイ)」にするか、しないかを選びます。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

60、30、オフ

AVコンピュリンクモード

ビクターのテレビやAVアンプなどと本機を連動して動作させるとき、接続した機器の入力端子に合わせて設定します。

設定内容(　　がお買い上げ時の設定です)

DVD1、DVD2、DVD3

- AVコンピュリンクの使いかたについては37ページをご覧ください。

パレンタルロック

この項目を選んで決定を押すと、次のパレンタルロック設定画面が表示され、視聴制限(パレンタルロック)を設定することができます。

- 視聴制限の設定方法については35ページをご覧ください。

視聴制限を設定する

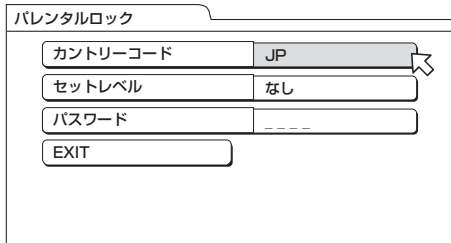
パレンタルロック対応のDVDビデオの再生では、視聴制限(パレンタルロック)の設定レベルに応じて、過激なシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。

はじめに設定する

DVD ビデオ

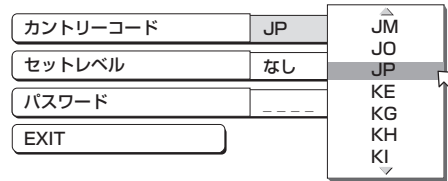
1 その他設定画面を表示させる

2 カーソルボタン▲/▼を押して↖を「パレンタルロック」に合わせ、決定を押す

パレンタルロック設定画面が表示されます。

3 ↖が「カントリーコード」を指しているときに決定ボタンを押す

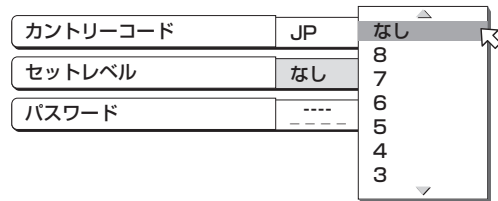
カントリーコードのプルダウンメニューが表示されます。

4 カーソルボタン▲/▼を押してカントリーコードを選ぶ

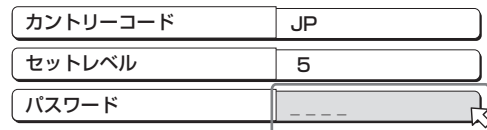
42ページ「付録A:カントリーコード一覧」を参照して、国/地域を選びます。

5 決定ボタンを押す

↖が[セットレベル]に移動します。

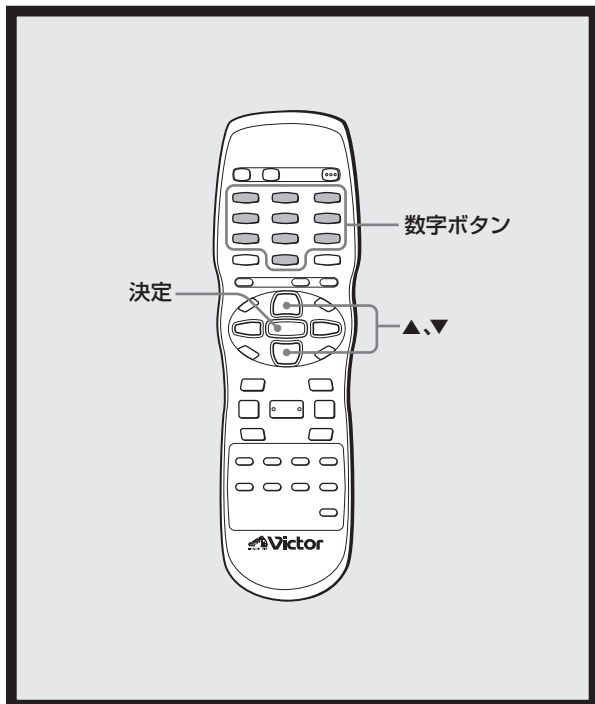
6 決定ボタンを押してプルダウンメニューを表示させる

[1]～[8]または[なし]の中から選びます。[なし]は視聴制限を全くしない設定です。[1]が最も制限が厳しい設定です。設定したレベル値以上の視聴制限がかかっているDVDビデオが再生できなくなります。

7 カーソルボタン▲/▼を押してレベルを選び、決定ボタンを押す

↖が[パスワード]に移動します。

8 数字ボタン(1～9、0)を押して4ケタのパスワードを入力する

9 決定ボタンを押す

パスワードが設定されます。

↖が[EXIT]に移動します。もう一度**決定ボタン**を押すと、その他設定画面に戻ります。

設定を変更する

DVD ビデオ

一度設定したパレンタルロックの設定(カントリーコード、セットレベル、パスワード)を変えることができます。

1 その他設定画面を表示させる

2 カーソルボタン▲/▼を押して☞を[パレンタルロック]に合わせ、決定ボタンを押す

パレンタルロック設定画面が表示されます。

3 数字ボタン(1～9、0)を押してパスワードを入力し、決定ボタンを押す

パスワードが正しければ、☞が**[カントリーコード]**に移動します。

パスワードを忘れてしまったときは**[8888]**を入力してください。今までのパスワードが無効となり、新しいパスワードを設定できるようになります。

4 ☞を[セットレベル]または[カントリーコード]に合わせ、決定ボタンを押す

セットレベルまたはカントリーコードのプルダウンメニューが表示されます。

5 カーソルボタン▲/▼を押して新しいカントリーコードまたはセットレベルを選び、決定ボタンを押す

カントリーコードを変更した場合は、セットレベルも再設定する必要があります。

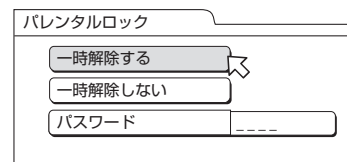
6 ☞が[パスワード]を指しているときに、数字ボタン(1～9、0)を押して新しい4ケタのパスワードを入力する

7 決定ボタンを押す

☞が**[EXIT]**に移動します。もう一度決定を押すと、その他設定画面に戻ります。

パレンタルロックを一時解除する

ここでは、DVDビデオを入れてパレンタルロックを一時解除するかどうかを選ぶ画面が表示されたときの操作を説明します。

1 カーソルボタン▲/▼を押して☞を[一時解除する]に合わせ、決定ボタンを押す

2 数字ボタン(1～9、0)を押してパスワードを入力する

パレンタルロックが一時解除され、ディスクの再生が始まります。

チャイルドロックについて

本機に入れたディスクが取り出せないようにロックすることができます。これをチャイルドロックといいます。小さなお子様がいるご家庭などで、誤動作を防ぎたいときにご利用ください。

チャイルドロックの設定をする

- 本機にディスクを入れた状態で操作します。
- リモコンでは操作できません。

本機の電源が切れている(スタンバイ状態)ときに、本体の■(停止)を押しながら⏏(開/閉)を押します。

チャイルドロックが働いているときにディスクを取り出そうとすると、「LOCK」と表示されディスクトレイが出てきません。

チャイルドロックを解除するときは同じ操作をします。

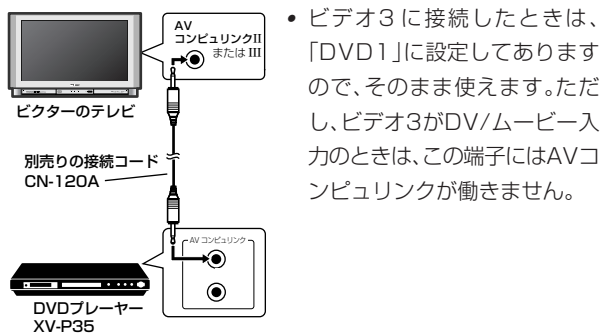
ご参考に

AVコンピュリンクの活用

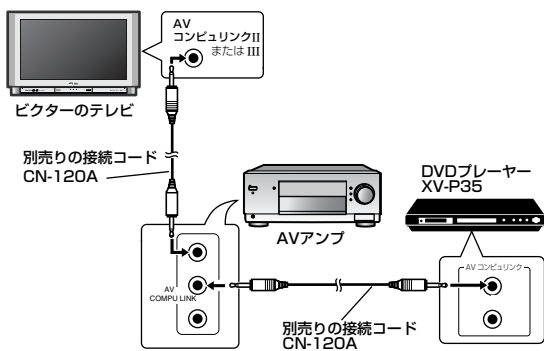
本機にビクター製のテレビ、ビデオデッキ、AVアンプなどいくつかの機器をつないだあと、再生するための操作は、それぞれ別々に行わなければならないわずらわしさがあります。一つの機器の操作に連動してほかの機器を動作させることによって、簡単な操作を実現したものがAVコンピュリンク機能です。

接続と設定をする

モノラルプラグ付きの接続コード(CN-120A:別売り)を使って、各機器のAVコンピュリンク端子どうしを接続します。機器によっては、AV COMPU LINK端子と英語で表記されていますが、同様の端子です。

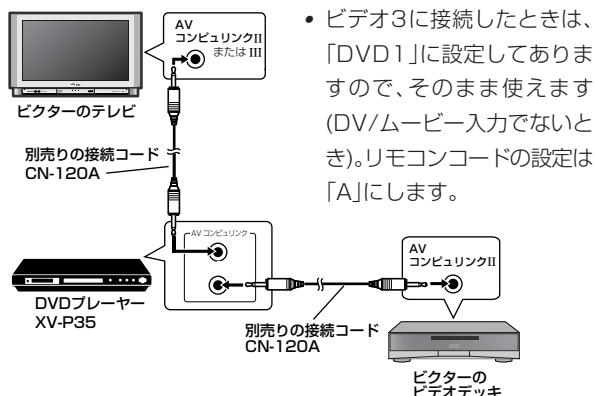
テレビとAVコンピュリンク接続

- ビデオ3に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます。ただし、ビデオ3がDV/ムービー入力のときは、この端子にはAVコンピュリンクが働きません。

テレビの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定
ビデオ1のとき	DVD2
ビデオ2のとき	DVD3

テレビおよびAVアンプとのAVコンピュリンク接続

AVアンプの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定
DVDを使用する	DVD1

ご注意

- DVD以外の音声入力端子に、DVDの音声出力を接続すると正しく動作しません。
- D1/D2映像出力をテレビにつなぐときは、本機のAVコンピュリンクモードの設定を「DVD1」にしてください。また、AVアンプのSビデオ端子とは接続しないでください。

テレビおよびビデオデッキとのAVコンピュリンク接続

- ビデオ3に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます(DV/ムービー入力でないとき)。リモコンコードの設定は「A」にします。

テレビの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定	ビデオデッキのリモコンコードの設定
ビデオ1のとき	DVD2	B
ビデオ2のとき	DVD3	A

操作方法

ソース機器(本機やビデオデッキなどの再生する機器のこと)を再生するだけで音や映像を鑑賞することができます。テレビやAVアンプの入力を切り換えたり、あらかじめ電源を「入」にする操作は必要ありません。

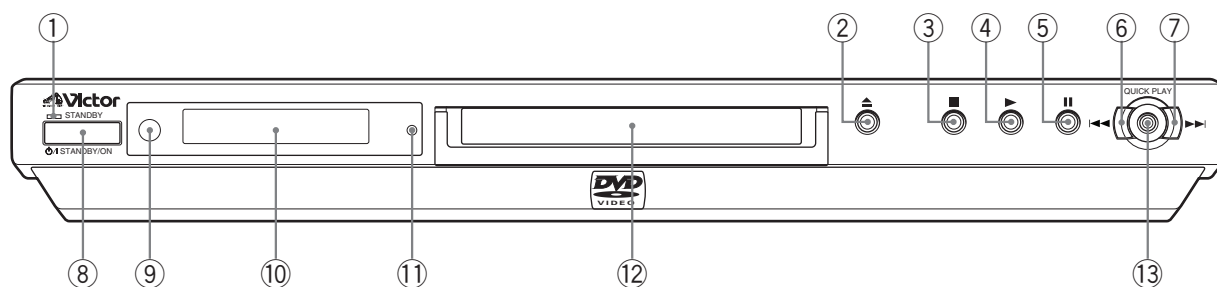
1. テレビの主電源スイッチを「入」にする
2. ソース機器にディスク、またはビデオカセットを入れる
3. ソース機器の►再生ボタンを押す

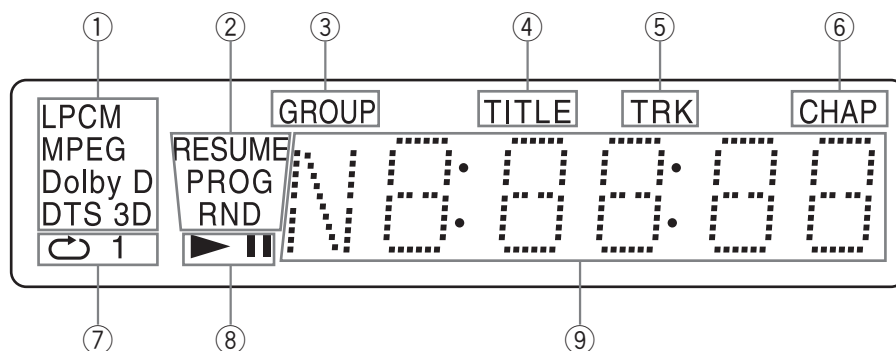
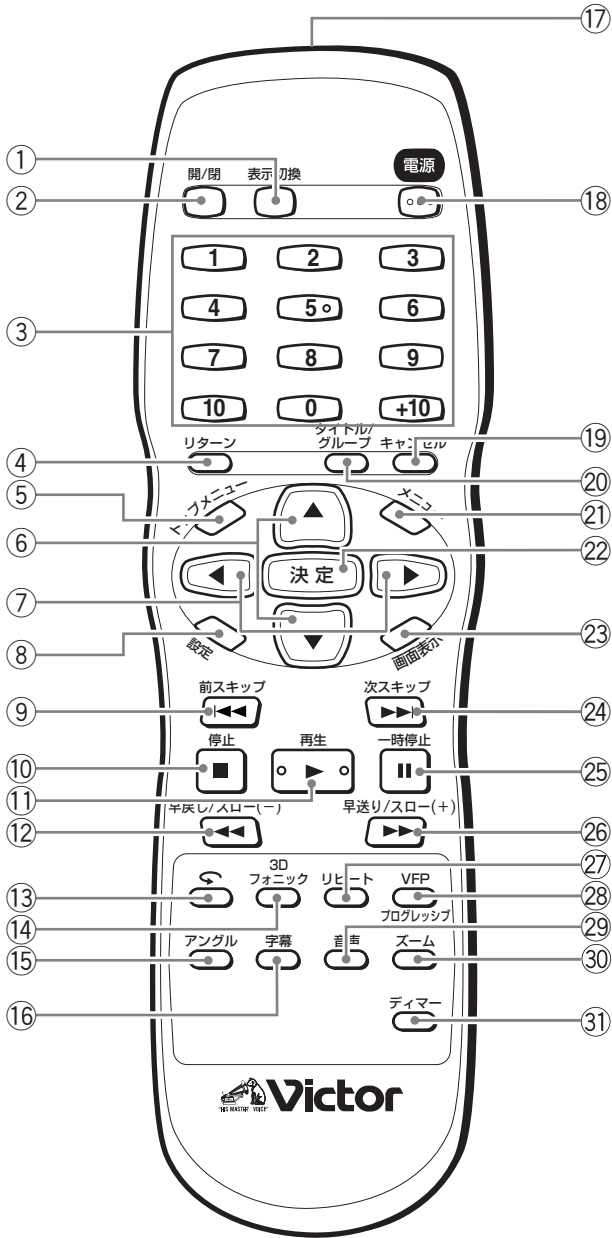
次の動作が自動的に行われます。

- テレビの電源が「入」になります。
- テレビの入力切換がソース機器を接続している外部入力(ビデオ1、ビデオ2、またはビデオ3)になります。
- AVアンプの電源が「入」になります。
- AVアンプのソース切換が►再生ボタンを押した機器に切り換わります。

各部の名称

本体

① STANDBYランプ
② ⏏(開/閉)ボタン
③ ■(停止)ボタン
④ ►(再生)ボタン
⑤ ıı(一時停止)ボタン
⑥ ◀◀ボタン
⑦ ▶▶ıボタン
⑧ ⏻/ISTANDBY/ONボタン
⑨ リモコン受光部
⑩ 表示窓
⑪ PROGRESSIVEランプ
⑫ ディスクトレイ
⑬ QUICK PLAYボタン(ランプ内蔵)

表示窓

① オーディオフォーマット表示
② リジューム/プログラム/ランダム表示
③ グループ表示
④ タイトル表示
⑤ トラック表示
⑥ チャプター表示
⑦ リピートモード表示
⑧ ►(再生)/ıı(一時停止)表示
⑨ マルチ情報ウインドウ

リモコン

① 表示切換ボタン
② 開/閉ボタン
③ 数字ボタン
④ リターンボタン
⑤ トップメニューボタン
⑥ カーソル▲、▼ボタン
⑦ カーソル◀、▶ボタン
⑧ 設定ボタン
⑨ ⏮前スキップボタン
⑩ ■停止ボタン
⑪ ▶再生ボタン
⑫ ◀◀早戻し/スロー(−)ボタン
⑬ ↶(チョット見バック)ボタン
⑭ 3Dフォニックボタン
⑮ アングルボタン
⑯ 字幕ボタン
⑰ リモコン信号送信部
⑱ 電源ボタン
⑲ キャンセルボタン
⑳ タイトル/グループボタン
㉑ メニューボタン
㉒ 決定ボタン
㉓ 画面表示ボタン
㉔ ⏭次スキップボタン
㉕ ⏸一時停止ボタン
㉖ ▶▶早送り/スロー(+)ボタン
㉗ リピートボタン
㉘ VFP-プログレッシブボタン
㉙ 音声ボタン
㉚ ズームボタン
㉛ ディマーボタン

故障かな？と思う前に

電源

電源が入らない。

→ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。

操作

リモコン操作ができない。

→ リモコンと本体との距離が離れていないか確認する。
→ 本体のリモコン受光部に向けて操作しているか確認する。
→ リモコンの電池が消耗していないか確認する。
→ 電池の極性が間違ってリモコンに入っていないか確認する。

正常に動作しない。

→ 静電気や電源のノイズなどで、本機のマイコンに不具合が生じたのが原因です。電源を切ったあと一度電源コードをコンセントから抜き、もう一度差し込んでから操作してください。
→ 本機を寒いところから急に暖かいところへ移動すると、内部に露が付くことがあります。1～2時間待ち、乾いてから使用してください。
→ 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。

DVDビデオ再生中に、タイトル/グループボタンでタイトル画面を表示させようとすると、⃠と表示され選択できない。

→ ディスク側の制約により選択することができません。►（再生）を押したあと数字ボタンを押してタイトルを選んでみてください。

ディスクが取り出せない。

→ チャイルドロックが設定されていないか確認してください。
本機の電源を切った状態で本体の■（停止）ボタンを押しながら▲（開/閉）ボタンを押してチャイルドロックを解除してください。

映像

映像が出ない。

→ 接続コードのプラグがしっかり接続されているか確認してください。
→ テレビの接続を確認し、テレビのビデオ入力を本機の映像が映るように切り換えてください。
→ ディスクに傷や汚れがないか確認してください。

映像が乱れる。

→ 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続していると映像が乱れることがあります。本機をテレビに直接つなぐように接続し直してください。

画面サイズがおかしい。

→「TVタイプ」の設定をお使いのテレビに合わせてください。
→ ワイドテレビでお楽しみの場合、初期設定画面の上下が切れてしまうことがあります。このような場合はテレビ側で表示サイズを切り換えてください。

音声

音が出ない。

→ 接続コードのプラグがしっかり接続されているか確認してください。
→ 接続機器の入力切換を確認してください。

デジタル音声出力を使っていて音が出ない。

ディスクの規格上、デジタル信号が出力できない場合があります(サンプリング周波数96kHz以上のディスク)。このような場合はアナログ接続でお使いください。

→ DTSディスクの音声信号は、本機のアナログ出力端子からは出力されません。DTSディスクを再生するときは、本機のデジタル音声出力にDTSデコーダーを搭載した機器を接続して再生してください。

MP3

音が出ない。

→ MP3ディスクがパケットライト方式(UDFフォーマット)で記録されています。パケットライト方式で記録されたディスクは、本機では再生できません。

順番どおりに再生されない。

→ MP3ディスクでは、グループ/トラックをアルファベット順で再生するため、市販のMP3ディスクを再生した場合、ディスクに記載されている順番とは異なって再生されることがあります。

JPEG

画像が出ない、または画面が黒くなる。

→ 再生しようとしているJPEGファイルのフォーマットがベースライン方式ではありません。本機では、ベースライン方式のJPEGファイルのみ再生できます。

初期設定画面を表示できない。

→ JPEGディスクを入れているときに初期設定画面を表示することはできません。

主な仕様

一般

再生可能ディスク	DVDビデオ、ビデオCD、オーディオCD、CD-R/-RW(オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCD、MP3、JPEG)、DVD-R/-RW(ビデオフォーマット)
映像信号方式	JEITA標準、NTSCカラーテレビジョン方式

ビデオ出力

コンポジット映像出力	1.0V(p-p) /75Ω
S1映像出力	Y出力: 1.0V(p-p)/75Ω C出力: 0.286V(p-p)/75Ω
D1/D2(コンポーネント)映像出力	Y出力: 1.0V(p-p)/75Ω C_B/C_R 出力: 0.7V(p-p)/75Ω
水平解像度	500本以上

オーディオ出力

アナログ音声出力	2.0Vrms/10kΩ
デジタル音声出力	PCM/ストリーム (光): −21dBm〜−15dBm (ピーク)

オーディオ特性

周波数特性	CD : 2Hz〜20kHz (サンプリング周波数44.1kHz) DVD : 2Hz〜22kHz* (サンプリング周波数48kHz) ＊DTS、ドルビーデジタルのビットストリーム信号は2Hz〜20kHz DVD : 2Hz〜44kHz (サンプリング周波数96kHz)
ダイナミックレンジ	16ビット: 98dB以上 20ビット/24ビット: 100dB以上 (JEITA)
ワウ·フラッター	測定限界 (±0.002% W.PEAK)以下(JEITA)
全高調波ひずみ率	0.006%以下(JEITA)

その他

電源	AC 100V(50Hz/60Hz)
消費電力	電源「入」時 :10W 電源「切(スタンバイ)」時: 0.7W
質量	2.1kg
外形寸法	(幅)435mm x (高さ)53mm x (奥行)248.4mm

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機はデジタル·シアター·システムズ社からの実施権に基づき製造されています。
  dts、DTSおよびDTS Digital Outは、デジタル·シアター·システムズ社の商標です。

付録A: カントリーコード一覧

「視聴制限を設定する」(35ページ)で、国を指定するのにこの番号を使います。

AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

付録B：言語コード一覧

「メニュー言語」、「音声言語」、「字幕言語」(32ページ)で、言語を指定するのにこの番号を使います。

コード	言語
AA	アファル語
AB	アブハジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラード語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KO	韓国(朝鮮)語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マライ(マレー)語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	(アフォン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ‐ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンド語
SH	セルボアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ヴォラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

付録C：デジタル信号出力チャート

デジタルOUTの設定項目について詳しくは33ページをご覧ください。

<table>
<tr><th rowspan="2">再生ディスク</th><th colspan="3">「デジタルOUT」設定</th></tr>
<tr><th>ストリーム/PCM</th><th>DOLBY DIGITAL/PCM</th><th>PCMのみ</th></tr>
<tr><td>48kHz、16/20/24ビット、
リニアPCMのDVDビデオ
96kHz、
リニアPCMのDVDビデオ</td><td colspan="3">48kHz、16ビット、ステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>DTSのDVDビデオ</td><td>DTSビットストリーム</td><td colspan="2">出力しない</td></tr>
<tr><td>ドルビーデジタルのDVDビデオ</td><td colspan="2">ドルビーデジタルビットストリーム</td><td>48kHz、16ビット、
ステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>オーディオCD/ビデオCD</td><td colspan="3">44.1kHz、16ビット、ステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>DTSのオーディオCD</td><td>DTSビットストリーム</td><td colspan="2">出力しない</td></tr>
<tr><td>MP3のCD-R/CD-RW</td><td colspan="3">リニアPCM</td></tr>
</table>

お知らせ

デジタル音声出力端子について著作権保護の設定がされていないDVDビデオでは、20ビットまたは24ビットで出力されるものがあります。

付録D: 用語集

DTS (Digital Theater System)
サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じ最大5.1chです。音声圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのあるノイズの少ない再生が可能です。

D端子
映像信号(Y、CB、CR)と、映像信号のフォーマットを識別する制御信号を一つのコネクタで接続できる端子です。本機はD1/D2端子を備え、D1〜D4端子付きのデジタルテレビに接続することができます。

JPEG (Joint Photographic coding Experts Group)
静止画情報圧縮フォーマットの一つで、インターネットやデジタルカメラなどに広く利用されています。

MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)
音声情報圧縮の国際規格で、音声データを元の音質を大きく損なうことなく、約1/10に圧縮することができるフォーマットです。このMP3フォーマットで記録したCD-R/CD-RWディスクを、本取扱説明書では「MP3ディスク」と呼んでいます。

NTSC
日本やアメリカで採用されているテレビ/ビデオ方式です。ヨーロッパなどでは別の方式(PALまたはSECAM)を採用しています。フレーム数や走査線数が異なるため、方式間の互換性はありません。

S映像信号
映像信号形式の一つで、信号の明るさの要素(輝度:Y)と色(C)の要素に分けて伝送するため、鮮明でにじみが少ない映像が楽しめます。これに、テレビ側にフルモード(縦長の映像)の自動判別信号を加えたのがS1映像です。

アスペクト比
表示される映像の縦横比のことです。通常のテレビの横:縦の比は4:3、ワイドテレビ、およびHDテレビの横:縦の比は16:9の比率をもっています。

コンポーネント映像信号
ビデオ信号方式の一つで、光の3原色の信号(G/B/R)や、それを基準により効率よく変換された映像信号(色差信号:Y/CB/CR)をさします。各々別々の信号線で伝送するため、高画質で伝送することができます。

コンポジット映像信号
映像信号形式の一つで、従来から使われています。信号の明るさの要素(輝度)と色の要素を周波数多重技術で複合し、これに色の基準となるバースト信号、同期信号を加えたものを一つの信号線で伝送します。

ダウンミックス
サラウンド方式(3チャンネル以上)で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ2チャンネル音声にミックスして再生する機能をいいます。

ドルビーデジタル
サラウンド方式の一つ。最大フロント3ch、リア2ch、およびサブウーハー0.1chの5.1chまで対応しています。

パケットライト方式
データをCD-R/RWに記録する方法の一つで、ディスクの空き容量に応じてトラックをさらに分割して記録します。本機ではこの方法で記録されたCD-R/RWディスクは再生できません。

パレンタルロック
年齢の若い視聴者に対して好ましくない内容を含んだDVDビデオの場合、あらかじめソフトに視聴可能なレベルが設定されています。このレベルに応じてプレーヤー側のレベルを設定し、見せたくないシーンなどを再生できなくしたり、別のシーンに変えたりすることができるようにする機能のことをいいます。

ビットストリーム
ドルビーデジタルなどのように、圧縮されたデジタル音声信号のこと。一般的には各種エンコード作業によって作成されたデジタルデータをさします。

プレイバックコントロール(PBC)
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号。PBC対応のビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。

リニアPCM音声
アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全くしない方式。

付録E: 用語索引

英数字

ア

イ

エ

オ

カ

シ

ス

セ

タ

チ

テ

ハ

フ

ヘ

マ

メ

ラ

リ

レ

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

40ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき、不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	DVDプレーヤー
型名	XV-P35
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お願い

- 本機の故障または不具合等によりディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したため発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

ビクターサービス窓口案内

（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)673-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越 S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋 S.C.	(027)255-5921	371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場
栃木	宇都宮 S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
	土浦 S.S.	(029)821-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
山梨	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S.	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
東海・北陸				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31中田ビル１Ｆ
	沼津 S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂曙3-10-12
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.C.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072)254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084)931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	周南市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売（株） 松江 S.C.	(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株） 鳥取 S.S.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0703

●略号について
S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

XV-P35 DVDプレーヤー 取扱説明書

別売りのオプション品

- オーディオ/ビデオコード :VX-35G (モノラル音声テレビとの接続用)
  :VX-315E (モノラル音声テレビとの接続用)
- オーディオコード :CN-510E
- 光デジタルケーブル :XN-110SA
- Sビデオコード :VC-S110E
- コンポーネントビデオコード :VX-DS110 (Dプラグ〜Dプラグ)
  :VX-DS210 (Dプラグ〜ピンプラグ×3)
- 接続コード :CN-120A (ミニプラグ)
- DVDレンズクリーナー :CL-DVDL

別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
（品番は変更されることがあります）

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
47ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120-2828-17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 東京 ☎(03) 5684-9311 FAX(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル 大阪 ☎(06) 6765-4161 FAX(06) 6765-4891 〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターインターネットホームページアドレス http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0703STYBICJSC